



* 0 0 3 7 9 2 8 0 0 0 *

0037928-000

EL228-9

通信教育式国際労働組合学校

国際赤色労働組合煽動宣伝部・編

希望閣

第1講義録

1931. 7

AGF

EL228

9

通信教育式
國際勞動組合學校
第1講義錄。



國際赤色勞動組合煽動宣傳部編
產業勞動調查所譯

希望閣刊



生徒が學校へ行けなければ
學校が生徒のところへ行かねばならぬ。

國際赤色勞働組合煽動宣傳部編
産業勞働調査所譯

通信教育式國際勞働組合學校

第一講義錄

EL228
9



82W51445

内 容

「通信教育式国際労働組合学校」のプログラム……………一

「通信教育式国際労働組合学校」の教案……………一

第一講 国際労働組合運動の理論と諸任務……………五

第二講 国際労働組合運動の組織問題……………七

第三講 国際労働組合運動の社会的経済的問題……………八

第四講 種々なる國々に於ける労働組合運動の概観……………一〇

一 労働組合運動の分裂せる諸國……………一〇

二 労働組合運動の分裂してゐない諸國……………一一

三 フアシズム及び白色テロル下の諸國の労働組合運動……………一二

四 植民地半植民地に於ける運動……………一三

第五講 国際労働組合運動の現在の問題……………一四

教育方法に關して通信教育式国際労働組合学校加入者へ與ふる手紙……………一四

内 容

労働組合学校の教材による研究方法.....二四

一 教育の目的.....二四

二 教材の構成要綱.....二五

三 教材による研究の方法.....二七

第一講 国際労働組合運動の理論と諸任務.....一九

第一項 労働組合運動の発生と発展.....一九

一 労働組合の発生.....二一

二 産業資本主義の時代に於ける労働組合運動の特性.....二七

三 帝國主義と労働組合運動.....三六

考 査 問 題.....四六

第三講 国際労働組合運動の社會經濟的問題.....四七

第一項 資本主義發展の現時期.....四七

第一問 資本主義の近代帝國主義的段階は一般に如何なるものか？.....四九

- 第二問 資本主義諸國に於ける革命的労働組合運動はどのようにして發生し且つ強化したか？.....五二
- 第三問 資本主義が平和裡に社會主義へ成長してゆくといふ組織化された資本主義についての論議は何故にすべて不合理であるか？.....五三
- 第四問 現段階における革命的労働者運動、殊に革命的労働組合運動の最も重要な任務は如何なるものであるか？.....五五

第四講 種々なる國々に於ける労働組合運動の概観.....五七

第一項 資本主義諸國に於ける労働組合運動の一般的概観.....五七

第一問 どうして戦争は社會民主主義的労働組合をブルジョアツの陣營に追ひやつたか？.....六六

第二問 資本主義諸國に於ける革命的労働組合運動はどのようにして發生し且つ強化したか？.....八三

第三問 廣汎な労働者大衆の獲得の見地よりせる革命的労働組合運動の最重要な諸任務.....八九

考 査 研 究.....九五

第五講 国際労働組合運動の現在の問題.....九七

第一項 世界恐慌、失業及び革命的労働組合運動の諸任務.....九七

第一問 現在の經濟恐慌の性質と範圍……………九八

第二問 世界經濟恐慌の見透し……………一〇一

第三問 現在の失業と恐慌との關係……………一〇三

第四問 失業者運動の規模と形態……………一〇四

第五問 失業者運動の展望……………一〇七

第六問 革命的勞働組合運動の諸任務……………一〇九

「通信教育式國際勞働組合學校」のプログラム

- 一、最近數年間に於て、通信學習書や通信講義録による獨學が廣汎に發展してゐることが確言される。通信式學校や通信式講習會は、勞働者大衆、殊に活動的勞働組合員が理論的並びに實踐的知識を得るための近道である。
- 二、革命的勞働組合員が如何なる條件の下に活動せねばならぬかをみれば、通信教育及び獨學は特に重要である。といふのは、一方では正則の學校や講習會を設けるには、大きな、時としては克服しがたい困難が横たはつてをり、他方では、緊張した日常の經濟的並びに政治的闘争が正にわが活動的な同志達が現存の學校や講習會へ規則正しく通學する可能性を屢々奪ふからである。
- 三、通信式學校は次のやうな長所をもつてゐる。――
 - 1 通信式學校は、各人がその本來の職能を抛つことなしに學習する可能性を與へる。

「通信教育式國際勞働組合學校」のプログラム

「通信教育式國際勞動組合學校」のプログラム

二

2 通信式學校は色々な理由からして正則の學校に通學することが全く不可能な加入者の群を包容する。

3 通信式學校は學習者を獨自的な研究に慣れさせる。通信式學校は、知識を廣めてゆくための絶えざる自己教育の必要を學習者に意識させる。同時に通信式學校は學習者に對する指導を決して缺かさない、といふのは、通信式學校は學習者の研究に方向を與へるからである。

四、革命的勞動組合員並びに階級意識ある勞動者大衆の理論的水準と實踐的訓練を促進する必要が常に益々切實となつてくるのに鑑み、且つ又規則的に仕事を履行する學校や講習會を設けることの困難なるを思ひ、更に又上述の通信教育のもつあらゆる長所に鑑みて、國際赤色勞動組合の煽動宣傳部は、「通信教育式國際勞動組合學校」の名稱の下に、一の通信式國際勞動組合學校の組織に着手する。

五、「通信教育式國際勞動組合學校」は、國際勞動者運動の最も重要な諸問題に關するマルクス及びレーニンの理論の精神に立つて、革命的勞動組合の活動的幹部を教育することを任務とする。

六、「通信教育式國際勞動組合學校」は、二十五乃至三十の通信（二週間毎に一通信づゝ）から成

る一年修了の講習であつて、毎冊二通信講義録から成る月刊冊子の形で出版する。

各通信講義録は、本來の教材（研究問題の基礎、更に深く進んだ根本的研究のための補足的文献資料の教示）は勿論、適當な文献の根本的研究への方法的な手引や考査問題や、更に又その問題を實際生活と活動とに結びつけるところの實踐的諸任務を包含する。

七、系統的に自己の理論的水準を高め、その實踐的知識を廣めるために努力するといふ目的を立てた勞動組合員は、すべて學習者として國際通信學校へ入學を許される。

『通信教育式國際労働組合學校』の教案

第一講 國際労働組合運動の理論と諸任務

第一項、労働組合發生の原因。資本主義の種々なる發展段階に於ける労働組合運動の目的と任務。ヨーロッパの最も重要な諸國に於ける労働組合結合の種々なる形態と、この多様性の社會經濟的根據。帝國主義戰爭時代の労働組合。戦後及び革命期の労働組合運動。新しい諸國及び諸大陸の包含。

第二項、マルクスの社會經濟體系に於ける労働組合。第一インタナショナルと労働組合。一八六六年の第一回國際社會主義者大會に於ける労働組合問題。ゼネヴァの決議(マルクス起草)。ハーマンとの討論及びその祖述者らの中間的態度。國際労働組合運動に於ける修正主義。スツツトガルト大會に於ける論戰。労働組合運動に於ける改良主義の社會的根底。

第三項、國際労働組合運動に於ける改良主義。アムステルダム並にその加盟諸組織。アムステル

ダムと戦争。階級協同理論の種々な變種。アメリカ労働總同盟。汎アジア・インタナショナルの思想。

第四項 労働組合運動に於けるアナルコ・サンデイカリズム。その社會的根據とその發展。ペルリン・インタナショナル。キリスト教労働組合。その綱領と活動方法。その支柱たる諸組織。キリスト教労働組合インタナショナル(その組織的構成と勢力)。ファシスト労働組合。企業家組合。その活動方法。企業家組織の國際的結合。

第五項 革命的労働組合運動と最近十年間に於けるその發展の主要段階。革命的労働組合運動の基本的原理。改良主義並にあらゆる種類の階級協同に對する系統的な絶えず益々尖鋭化する闘争。西洋及び東洋に於ける主要な國際赤色労働組合加盟組織。國際赤色労働組合とアムステルダム・インタナショナルとの勢力。國際赤色労働組合と植民地半植民地に於ける運動。遅れた諸國の労働者運動内への國際赤色労働組合のローガンの侵入。國際赤色労働組合と國際共產黨。第六項 サヴェート同盟に於ける労働組合運動の經驗。經濟主義に對する闘争。中立主義。非合法的労働組合。黨に屬せる組合と無所屬の組合。組織上の要因(工場委員會。世話役)。労働組合

の中心點としての文化的並に教育的諸組織。二つの革命の間に於ける労働組合運動。労働者による管理。プロレタリアートのXXと労働組合運動。

第二講、國際労働組合運動の組織問題

第一項 労働組合運動の組織形態の發展。労働組合の構成の基本型。組合の縦及び横の構成。産業別の原則による構成。指導機關と大衆との結合。國際關係。産業別インタナショナル。國際宣傳行動委員會。

第二項 主要資本主義國に於ける労働組合の近代的構造。改良主義的、キリスト教的、ファシスト的の組合の構造。独自の革命的労働組合諸組織の構成並に改良主義的労働組合内部の革命的反對派の構成。

第三項 大衆活動の組織化。大衆獲得の形態と方法、及び大衆の間の政治的影響を組織的に定着せしむる形態と方法。未組織者の組織化。失業者の組織化と失業者の間の活動方法。

第四項 労働組合内民主主義のための闘争——革命的「民主主義」と改良主義的「民主主義」。労働

- 働組合の規約。下部組織代表の組織化。勞働組合代表者。革命的世話役。
- 第五項、ストライキ闘争の組織形態。ストライキ指導部と闘争指導部、並に最近時の主要なストライキにおけるその役割。經濟闘争の独自の指導の問題。
- 第六項、工場委員会。その努力目標と任務。工場委員会法。工場委員会選挙。資本攻勢に對する闘争における工場委員会の役割。工場委員会とストライキ闘争。勞働者運動の統一機關としての工場委員会。工場内に於ける工場委員会の種々なる萌芽形態。
- 第七項、革命的勞働組合運動の組織形態。少數派運動。反對派と共産黨フラクション。新組合。新勞働組合中央部と新勞働組合評議會。

第三講、國際勞働組合運動の社會經濟的問題

- 第一項、資本主義發展の現時期。トラスト化とカルテル化。一國的及び國際的規模に於ける國家資本主義。資本主義發展の戦後第三期の諸矛盾の尖鋭化と國際的勞働組合運動へのその影響。資本主義的合理化の形態と方法。資本主義諸國のプロレタリアートの經濟闘争の最新段階の特性。

性。

- 第二項、資本主義諸國に於けるストライキ闘争。最近年に於けるストライキ運動の擴大。ヨーロッパ及び東洋の主要國に關する統計的報告。ストライキ闘争の戰略戰術。最近の時期のストライキ運動の特質（經濟闘争の政治闘争への轉化）。政治的ストライキ。
- 第三項、主要資本主義諸國に於ける失業。統計報告の分析。資本主義的合理化と失業。賃銀政策に於ける豫備軍の役割。種々な國々に於ける失業保險とその形態。組合による失業者扶助の諸形態。
- 第四項、最近十年間の西洋の主要資本主義諸國に於ける賃銀の運動。植民地半植民地の賃銀。賃銀に對する資本の突撃。改良主義者の賃銀政策。革命的組合の要求と賃銀闘争。サヴェート同盟に於ける賃銀問題。
- 第五項、八時間勞働制のための闘争。戦前の勞働時間。勞働時間短縮のための闘争に於ける最初の成果と有利な事情。第一インタナショナルのゼネヴァ大會の決議と第二インタナショナルのパリ大會の決議。戦後に於ける八時間制の法律上の獲得。一九一九年のワシントン協約。アムステルダムと八時間勞働制。植民地半植民地の勞働時間。少年及び青年の勞働時間。勞働

時間短縮のための革命的労働組合運動の闘争。一九〇五年後に於けるロシア労働組合運動の経験。サヴェート同盟の労働組合と七時間労働制。

第六項 サヴェート同盟及び資本主義諸國に於ける労働組合の賃率協定活動。賃率契約。仲裁局と仲裁裁判所。仲裁制度に對する闘争。改良主義者の政策。労働組合の財政。

第四講、種々なる國々に於ける労働組合運動の概観

一、労働組合運動の分裂せる諸國

- 1 フランス、労働總同盟（CGT）の小史。労働總同盟の分裂と統一労働總同盟（CGTU）の創立。統一のための闘争。統一戦線及び統一のための闘争に於いて統一労働總同盟の犯した誤謬。國際赤色労働組合。第四回大會後の統一労働總同盟。
- 2 チェツコスロヴァキア、労働組合運動の分裂と國際全労働組合同盟（IAV）の創立。國際労働者同盟指導部の日和見主義。國際赤色労働組合第四回大會と國際労働者同盟の分裂。
- 3 日本、労働組合運動の歴史。總同盟と評議會。種々なる中間派並に右翼の小グループ。

- 4 アメリカ合衆國、アメリカ労働總同盟の歴史。労働組合宣傳同盟の創立。國際赤色労働組合第四回大會、並びに労働組合宣傳同盟の労働組合統一同盟への改造。

二、労働組合運動の分裂してゐない諸國

- 5 ドイツ、ドイツ労働組合總同盟（ADGB）の歴史。キリスト教的組合及びヒルシュ・ドゥンケル組合。反対派の成立。右翼的並に左翼的偏向。國際赤色労働組合第四回大會。反対派の新戦術。反対派の成果。反対派の當面する諸任務。
- 6 イギリス、イギリス労働組合運動の歴史。少数派運動の創立。一九二六年のゼネラル・ストライキ。モンド主義。少数派運動に對するイギリス労働組合官僚の新戦術（除名、労働組合の権利の制奪と制限等）。新しい革命的組合（スコットランド鑛山労働者組合と被服労働者組合）。労働組合總評議會と産業會議。少数派運動の諸任務。
- 7 スカンヂナヴィア諸國、スカンヂナヴィア諸國の労働組合運動の特質。ノルウェー、スウェーデン、及びデンマークにおける少数派の革命的運動。フィンランドの左翼組合。中央派

に對する闘争。諸任務。

三、ファシズム及び白色テロル下の諸國の労働組合運動

- 8 イタリア、イタリーに於ける労働組合運動の歴史。労働組合運動に於ける日和見主義的諸傾向。ファシスト・クーデターとイタリーの労働總同盟(CGL)の指導者らのファシズムの側への移行。改良主義的首腦部組織による労働總同盟の解體。非合法的労働總同盟。アムステルダム。アムステルダム並びに國際赤色労働組合に對する態度。
- 9 ポーランド、戦後のポーランドに於ける労働組合運動の歴史。労働組合のファツシヨ化。革命的少數派。指導部の誤謬。運動の成果と今後の任務。
- 10 バルカン諸國、ギリシヤ、ユーゴスラヴィア、ハンガリー、ブルガリア、ルーマニア。改良主義的労働組合のファシスト國家との合生。革命的労働組合運動と今後の任務。

四、植民地半植民地に於ける運動

- 11 支那 支那に於ける労働組合運動小史。國民黨と労働組合運動。革命中の労働組合運動。反動期の労働組合運動。
- 12 ラテンアメリカ、ラテンアメリカ諸國の労働組合運動。

第五講、國際労働組合運動の現在の問題

この講には労働組合運動の最も緊急な問題が屬する。この講は國際赤色労働組合並びにサヴェイト同盟の労働組合諸組織内に於ける學習者の實踐と結合されるべきである。

教育方法に關して通信教育式國際労働組合 學校加入者へ與ふる手紙

労働組合學校の教材による研究方法

一、教育の目的

吾々の教材は聽講者に對して、國際労働者運動の領域に演ぜられる諸現象の正しいマルクス、レーニン主義的分析を傳へ、聽講者がこれらの現象に對して正しい立場をとり、革命的労働者運動の當面する諸任務を正しく知る手助けとなるものである。

吾々の教材の特質も亦このことに應じてゐる。國際赤色労働組合の文化部によつて蒐集されたこの材料は、國際労働者運動の種々な問題と現象を解明し、聽講者を導いて正しい政治的判斷を獲得せしめんとするものである。故に國際赤色労働組合の各國支部自身が、國際労働組合學校の學生達に必要な材料を供給し、それによつて聽講者が一般的性質をもつ諸材料を基礎としてその

國の具體的條件について判斷し得るやうにすることを期待する。

かくして聽講者は、獨力で社會的諸現象をその絶え間なき發展に於て觀察し、その現象の內的相互關係を洞察し、一定の「事件の論理」を確認し、その不可避的結果を豫め見抜くと共に、それに關聯して、どんな機會にも労働者階級の一般的運動の中に於て彼自身と彼の屬するグループとの持つ諸任務とを正しく決定する能力を得る可能性を與へられるであらう。

二、教材の構成要綱

以上の如き目標を設けるとき、教材の外部構成の一般的要綱は次のものから成ることになる。

1、論項、これは、教材のその部分が取扱つてゐる問題の何たるかを指示すべき語句よりなる短い標題である。

2、論項の課題、これは學習者に、そこに提出された問題に對する正しい原則的な態度を傳へる意味に於て、教材中最も重要な部分である。この部分には、そこから學習者が現象に對する自己の關係を推論すべき理論的基礎が平明に言ひ現はされてゐる。立入つた説明の基礎に

なるところの根本思想が展開されてゐる。

根本思想を展開するためには一聯の論項を観察せねばならぬ。そのため論項要旨には後に至つてはじめて解明されるやうな論題も亦立てられてゐる。又、必要な場合には論題は更にその個々の構成部分細目に分解される。

論題と細目とは、學習者が論項の發展の論理的過程を辿ることの手助けたるべき論項の根本思想の展開様式、方法を規定する。

3 個々の論題の説明

ここでは現象が擧げられ、それに対する分析が行はれ、同時に提出された論題に對する明確な回答が與へられる。一切の論題の全體として、説明は、その項の課題に述べてある主要思想を立證し、かゝる方法によつて説明の論理的軌道を終結せしめんとするものである。

4 考查研究

考查研究は學習者に對し論項の習得を試験するのみならず、事件を獨自的に分析する能力を高める可能性を與へるものである。考查の對象は、常に、學習者が教材から習得した諸原則の立場

から、一般労働者運動並びに自國の労働組合運動の領域に於ける何らかの現象群を解明することである。

考查研究用の資料として参考文献と、各國支部が作成すべきところの、その國の運動の具體的經驗に基づく一般的原則の事實的例證たるべき材料が役立つ。

三、教材による研究の方法

吾々は次のやうな方法をすすめる。

- 1、各項の課題を研究すること。聽講者は問題の本質を完全にハッキリと理解しないうちは最初の論題の説明から先へ進んではならぬこと。
- 2、個々の論題は順を追ふて次々に研究すること。
- 3、各國支部（労働組合革命的反對派又は革命的組合）の材料を精密に研究すること。
- 4、學習者も一度その項の課題に立ち返つてみることに。これは特に個々の論題の説明と各國支部の供給した材料とが、如何に原則的態度の正しさを立證するかを追究するためである。

5、學習者は考査研究をすること。

國際赤色労働組合の煽動宣傳部内文化部は、學習者が上述の講習方法を基礎として研究することとは、學習者が革命的労働者組織の中で活動することを容易ならしめ、革命的労働者運動に對する彼の義務を、従来よりもより良く満す助けとなる結果を生むであらうことを信じて疑はない。國際赤色労働組合煽動宣傳部内文化部は學習者に、その研究が最良の成果を結ばんことを望んでゐる。

國際赤色労働組合煽動宣傳部内文化部

第一講 國際労働組合運動の理論と諸任務

第一項 労働組合運動の發生と發展

本項の課題

この講義は全講習の序論である。これは聽講者に、プロレタリアートを助けて、資本主義社會におけるプロレタリアートの階級的地位と、經濟闘争の遂行のための組織——即ち労働組合——をつくることの必要を理解する手段をこれに與へんとするものである。その他この講義では、資本主義發展の種々な段階に於ける労働組合の特性と活動方法の變化を起さしめる諸條件を明かにしようとするものである。

資本主義の何れの發展段階の特性も、工業の一定の發達段階や、技術の一定の發達程度や、資本主義的組織の一定の形態（一般的競争、又は相互に競争するカルテル、トラストへの結成）が

それに対応し、又同時に他の側に於てはプロレタリアートの一定の構成と労働者の階級意識の一定の状態とがそれに対応するといふ點にある。これら總てのものは、資本主義の種々な發展段階に於ける労働組合存立の種々な時期の夫々に於て労働組合が持つ内容とその活動方法とを決定する。

資本主義經濟は個々の國々に於て不均等に發展する。最も早く資本主義が發展した國はイギリスであつて、次にドイツ、フランス、アメリカ、後にロシア、そしておしまひに東洋の諸國であつた。これらの國々の何れに於ても發展の速度は各異つてゐるが、概してその國がその發展の資本主義的段階に入ることが遅ければ遅いだけ、早く發展した國々に比べて發展の速度は一層急速である。その理由は、發展を遅れて開始した國は、もはや資本主義の全發展行程を經過せずしてよいからである。

その發展は、早くから發展した諸國の援助を受け、且つ之と競争して進行する。個々の國に於ける資本主義發展の速度、並びに形態上の差異と、それと關聯して生ずる經濟的・政治的特殊性と、これによつて惹き起される個々の國々の労働組合の活動條件の差異とは、労働組合運動の種

々様々な型をつくり出す。それであるから、本講義は次のやうな論題を包含する。

一、労働組合は如何にして發生し、如何に發展するか？

二、産業資本主義の時代に於ける労働組合運動の特性。

1 産業資本主義時代の特殊性。

2 産業資本主義時代に於ける労働組合の種々な型。

三、帝國主義と労働組合運動。

1 資本主義發展の新段階としての帝國主義。

2 帝國主義時代に於ける労働組合の役割と活動の變化。

3 帝國主義時代に於ける労働組合運動内の日和見主義の發展。

一、労働組合の發生

労働組合運動はプロレタリアートの一大衆運動である。その追求する目的は労働者階級の地位の改善であつて、その際、後述するやうに労働組合はその發展の種々な段階に於て、この目的

のための種々な手段と道とを見出し、その發展の最高の段階に於ては、この道をたゞ資本主義の××の中に、社會主義的經濟制度の建設の中にのみ見出すのである。労働組合は資本主義的生産形態と、それから結果する勞資利害の對立の基礎の上に發生する。

資本主義的經濟制度は十八世紀の終り、しかもイギリスに於ける産業革命（一七六五—一八二五年）の始まりと、一七八九年のフランス大革命との以後に於て打ち建てられ始めた。現在では資本主義的經濟制度は労働者が階級として生産手段を所有してゐるところのサヴェート同盟を除く總ての國々を支配してゐる。資本主義的制度は、以前封建制度の場合に主としてさうであつたやうな、自己の一切の必要品を自身の所有する手段で満たしてゐる、或は満たし得る封鎖的家内經濟の代りに、一の商品經濟——市場のために商品を生産し、労働力を商品に轉化せしめる經濟が支配してゐるといふことを本質とする。

資本主義的經濟制度の存立にとつて缺くべからざる前提條件は、生産者と生産手段との分離である。生産手段（土地、工場建物、鑛山、機械、装置及び道具、等）は資本家のものであつて、商品の生産者たる労働者のものではない。（ハムマーや鋸や或は之に似た手工道具を所有してゐ

るといふことは、この機械器具の時代に於てはもとより何らの役割をも演じない）。労働者が生産手段を自由にすることができないといふ事情は、労働者をして彼の有つ唯一の商品たる労働力を賣ることを餘儀なくする。資本家による労働力の購買とその搾取は剩餘價值（註一）の收得、資本主義的蓄積（資本の累積）をつくり出す。個々の資本家の今日の爭鬪戦と大經營による小經營の併合とによるこの蓄積を基礎として資本の集積が行はれ少數の資本家の手への生産手段の結合が行はれる。

（註一） 剩餘價值とは、労働者によつてその生計に必要な額以上に生産され、資本家によつて占有される剩餘生産物である。

生産の集積並びに集中の結果、小經營は没落するか乃至は大企業家の補助經營となり、完全は大企業家に從屬してしまふ。資本主義的大經營は人間の大家を一の場所に集める。これらの大家は、これ迄はお互に少しも結合してゐなかつたが、今や資本主義のおかげで同一の關係、搾取の關係の下に置かれる。それは自己の状態に對する憤激とそれを改善せんとする努力とをこの大家のうちに喚起する。

資本主義的經濟制度を基礎として資本主義に特有な階級關係が打ち建てられてゐる。生産手段に對して同一の關係に立ち、労働の社會的組織化に於て同一の役割を演じ、從つて社會的生產に對し同一の利害を持つ人間の集團を階級と稱へる。さればブルジョアジーとは生産手段の所有者である。彼らは生産の指導者であり、剩餘價値の收得によつて生活する。これに反してプロレタリアートは、生産手段を何ら所有せず、ブルジョアジーによつて搾取される。資本主義的社會制度に於けるあらゆる階級關係は、究極にはプロレタリアートとブルジョアジー間の闘争に導く。この闘争は、労働者階級の搾取を高め、且つ社會的生產に於ける資本家の分け前を増大せしめんとする資本家らの努力から起るのである。

資本主義的經濟制度の中にあつて行はれてゐる搾取の結果、労働者階級の中に、この搾取を制限し、且つ資本家に對抗すべき組織へ結束することによつてその状態を改善しようとする努力が起つてくる。

「労働者が互に結合しようとする最初の試みは常に團結の形態をとる。

大工業は多數の互に見ず知らずの人間を一つの場所に寄せ集める。競争は彼らを利害によつ

て分裂させる。然し勞賃の維持といふ彼らの主人に對する共通の利害が彼らを共通な反抗の思想に結束せしめる、それが團結だ。かくて團結は常に二重の目的を、即ち資本家に對し共通の競争を爲し得るために労働者相互間の競争を廢止する目的をもつてゐる。反抗の最初の目的が勞賃の維持といふことに過ぎなかつたとしても、初め孤立的であつた團結は、資本家らがこれを彈壓せんために結束するに應じてやがて集團となり、更に常に結束せる資本に對抗して、勞賃の維持よりも聯合の維持の方がより必要になつてくる。これらの闘争——一の眞實の××——に於て來るべき戰闘のための一切の要素が結集し發展してくる。一度この點に達するや、團結は一の政治的性質を帯びる」(カール・マルクス『哲學の貧困』一九一三年、百六十一頁)。

労働者の聯合への組織化の本質について、又勞賃のための闘争や搾取を制限せんとする努力についてのマルクスの以上の言葉は、資本主義支配の内部に於ての労働者階級の地位改善のための前衛闘士たる労働組合の役割を特徴づけてゐる。同時に上述の言葉は、この經濟闘争が政治闘争へ、即ち賃銀制度の廢止のための闘争へ轉化することの不可避なることを示してゐる。

労働組合は、労働者階級の地位改善のための自然發生的闘争が一の組織的な闘争へ轉化しはじ

めるところの資本主義發展段階に發生する。この自然發生的闘争はストライキを以て始まる。ストライキは労働者の組織的進出の最も古くからの形態であつて、労働者を團結に慣れさせ、又一の永續的な闘争手段として労働組合をつくり出す。この時期の特徴はプロレタリアートがもはや資本家の掌中にある従順な道具たることをやめて自ら防衛し始めるといふことである。

労働者階級の發達のこの段階に於て労働組合が必然的に發生するといふことは、労働組合運動の存在する總ての國々を通じて一貫せる特徴である。イギリスでは労働組合の大衆的運動は、産業革命の末期即ち十九世紀の三十年代に至つてはじめてこれを見る。ドイツ、オーストリー、スウイスでは、組合は部分的には昔の同業組合の形態に結びついてゐる。これらの國々では組合は六十年代つまり産業資本主義の支配せる時代に至つて發生してゐる。アメリカ合衆國では組合は十九世紀の三十年代に發生してゐる。労働組合の發生する最も重要な物質的前提は、プロレタリアートの存在と資本家によるプロレタリアートの搾取である。然しさうして發生した労働組合は、更に政治的前提條件を必要とする。つまり労働者階級の團結權、即ち労働組合的團體へ組織化し、結果する權利を必要とする。發達した資本主義の下でさへも、この權利の排除は、労働組合運動

が大衆運動となることを妨害するのである（ツァー治下のロシア）。この權利は労働者階級がたゞ辛苦努力によつてのみ資本家から奪ひとつたものである。かゝる理由から、労働者階級の組織化は、罷業權と労働組合への結合權のための労働者階級の闘争と共に始まつた。かくしてそのそもくの始まりに於て既に労働者の經濟闘争は政治闘争と緊密に結びついてゐるのである。

労働組合の組織形態と活動はプロレタリアートの生活條件に直接かゝつてゐると共に、又この生活條件そのものに影響を及ぼす。労働組合の活動は、資本主義社會の種々な發展段階に於ける階級としてのプロレタリアートの階級意識の種々な状態を反映する。

二、産業資本主義の時代に於ける労働組合運動の特性

産業資本主義の時代に於ける労働組合の活動は、帝國主義時代に於けると同様、その時代の社會經濟的關係と、この關係を基礎として打建てられるプロレタリアートとブルジョア階級の階級關係に直接かゝつてゐる。然しそれは何の意味か？

「産業資本の支配時代は本質に於て「自由競争」の時代であつた。未獲得の植民地を分割し武

力的に占領することによつて資本主義が比較的、不斷に發展し全地球上に傳播した時代であつた。それと同時に資本主義の内的矛盾は絶えず増大し、その重荷はとりわけて系統的に掠奪され威嚇され隷屬せしめられてゐる植民地領域に負はされたのである」(國際×××綱領第一章第二節)。

先に指摘した通り、資本主義は、種々な諸國の經濟的發展が種々な様式と方法で行はれるといふことを特徴としてゐる。それと關聯して何れの國にも、他の國々とその經濟的・政治的關係を部分的に異にする各自の一國的特殊性が形成される。かゝる事情が又、既に産業資本主義の時代に於て、種々な國々の労働者運動の區々な性質を決定する。

産業資本主義の時代は主に消費財の生産を以て特徴とする(纖維産業が生産の主たる部門をなしてゐる)。これに反して生産手段の生産(機械、道具、等)は、全生産行程に於てたゞ從屬的な役割を演ずるに過ぎない。消費財生産の優勢なることは、機械の使用が少いことを意味し、生産の集積の少いことを意味し、こゝから又、生産に従事するプロレタリアートの種々な集團に於ける特殊性の存在といふ結果が生れる。熟練労働者は生産に於て卓越した地位を占め、種々な資格

が労働者の心に同業組合的利害を喚び覺ませせる。労働者階級の内部に於けるこの差別は、労働者階級の種々な集團を一の統一的全體へ結成することを困難にする。

産業資本主義の時代は總ての工業國に労働組合運動を喚び起す。先に述べた理由から、労働組合運動の發展は種々な國々に於て差異を呈する。この差異は、一國の労働者運動が、その目的に於て、その組織方法に於て、その性質に於て、他國の労働者運動と非常に遠つてゐることに基くのである。或る國(例へばイギリス)に於ては労働組合はたゞ瑣細な改善や改良を獲得することに努めるだけである。イギリスに於ては當時独自のプロレタリアートの政黨がなかつた。そして労働組合は今日に於ても尚ほ多くの舊職業分派的傳統を守つてゐるのである。ところが他の國(ドイツ)に於ては、運動は社會主義の旗の下に展開し、プロレタリアートの政黨がつくられ、そして労働組合は大部分多くの職業分派の中央組合への産業別的結成を基礎として組織されてゐる。これに反してフランスに於ては、上述の國々に於けると異り、最小の職業部門が廣汎な自決権をもつところの独自の労働者運動を打ち建てゝゐる。

資本主義は相異なる國々の労働者に對して、相異なる關係をつくり出すのみならず、同一國內

の労働者の個々の集團に對しても亦さうである。即ち、どれでも或る集團が生産過程に對しても意義に應じ、更に又これらの集團を労働豫備軍即ち失業者の陣列から補充し得る程度に應じてこの關係が決まる。こゝからして賃銀の高い労働者と賃銀の安い労働者との労働者階級内部の分化が行はれる。賃銀の高い労働者群は大低組織率が良い。そして労働組合は著しく彼らの利益に専心するのである。

産業資本主義の時代に個々の國々に形成された労働組合運動は、今日どういふ状態にあるか？何よりも先づそれは組織形態の多様性といふことをその特徴とする。三つの主要な組織形態は、イギリスのトレード・ユニオンと、ドイツの中央集権的組合と、フランスのサンチカである。これら三つの形態の何れも一部分的にはその國の工業組織の程度と、工業的發展の速度と、労働者階級の性質及び構成と、階級闘争の諸關係と、その階級意識の状態と、政治闘争に對する態度とを反映してゐる。

トレイド・ユニオンイズム（労働組合主義）とは職業組合別の組織化と解すべき労働組合運動の一の思想的・政治的型である。この組合は著しく狭い任務を任務とする。即ち單に労働條件の

改善と賃銀の引上げと、現存社會の埒内に於て労働者階級の物質的狀態を改善することのみに努める。この組合が又政治闘争を承認する場合でも、それは單に資本主義的經濟秩序の内部に於て可能なるもののみであつて、この埒を越えるものではない。プロレタリアートに何ら獨自的な政治的任務を課さぬこのトレード・ユニオンイズムは、根本的には、「労働者階級のブルジョア的政策」を追求するものである。といふのは労働者階級と組合は、それによつて甘んじてブルジョアジーに追隨することになるからである。國際労働者運動の特殊の型としてのトレード・ユニオンイズムは、十九世紀の全期間に亘つてイギリスの資本主義が世界市場で獨占的地位を占めてゐた結果、そしてブルジョアジーによるプロレタリアートの感化の結果發生したものである。

「何れの資本主義社會に於ても何千本となき糸によつて小ブルジョアジーと不可避的に結びつけられてゐるプロレタリアートは労働者黨樹立の頃には、世界到る處に於てブルジョアジーによる多かれ少かれ永續的な執拗な思想的・政治的感化の時期を経過する。これらあらゆる資本主義諸國に共通な現象は、種々な國々に於てその歴史的・經濟的特殊性に從ひ種々な形態をとる。イギリスに於ては、自由主義的ブルジョアジーは、完全な政治的自由と長期に繼續したイギリス

スの獨占的地位の結果、意識ある労働者の多數を數十年に亘つて腐敗させ且つ隷従させることを得た」(レーニン)。

イギリスのプロレタリアートのこの腐敗化と隷屬とは、イギリスのブルジョアジーがプロレタリアートの經濟的部分要求に對し讓歩をなしたことによつて達せられたものである。イギリスの資本は、その獨占的地位と、その植民地のお蔭で獲得した超利潤から出費して、何ら失費することなしに労働者に讓歩し得る状態にあつたのである。イギリスは他の諸國の資本主義が尙ほ未だそれほど高い發展段階に達してゐなかつた間丈は「全世界の工場」であつた。加ふるにイギリスは澤山の植民地を有つてゐた。イギリスがかういふ状態にあつたがためにプロレタリアートがその要求を掲げるやすぐにプロレタリアートにその超利潤の極小部分を與へることができたのである。かくしてエンゲルスが言つたやうに資本主義の埒内に於ても自己の状態を改善し得るものと信じてゐるところの「ブルジョア的なプロレタリアート」がつくり出された。

すべてこれらの事情の結果、産業資本主義の時代に於けるイギリスのプロレタリアートの全運動は、トレード・ユニオンズの河床の中を流れたのである。イギリスの労働者運動の中にトレ

ード・ユニオンズを植えつけたその事情が、プロレタリアートの獨立的な政治闘争の思想を、従つて又社會主義の思想を國內に侵入させることを許さなかつた。イギリスの諸關係は、プロレタリアートの獨立的經濟闘争の政治闘争への轉化にとつて都合よいものではなかつた。組織の方面に於ては、トレード・ユニオンズは労働者の労働組合的結合の職業別の形態をつくり出した。かゝる組織形態は、個々の労働者群を互に離れくゞにらしめ個々の職業、個々の分派間に深刻な差異を存続せしめることに役立つのである。イギリスの労働組合運動が自らに課してゐる階級的任務の狭小なことは、たゞこの同業組合的精神とすでに經濟的に過去のものとなつた時期の餘韻とを高めるだけである。

トレード・ユニオンズと違つて、アナルコ・サンチカリズムは一般的階級的任務を自己に課してゐる。アナルコ・サンチカリズムは、單に資本主義下に於ける労働者階級の狀態改善に限定せずして、資本主義のXXに向つて努める。それは労働組合をプロレタリアートの階級闘争に於ける最も重要な武器と認める。アナルコ・サンチカリズムは労働組合を以て、ブルジョア社會をXXしその代りに新制度、即ち生産者聯合同盟をつくり出すべき生産者の組織であるとし、そし

て道具と生産手段はこの同盟の所有にうつるものであるとする。階級問題をかく提起することは、サンチカリズムが労働者の經濟闘争に重きを置き、政治闘争や議會や國家や又如何なる政治的活動をも之を否定するといふことに導く。このことは、サンチカリズムをして労働者運動に於ける小ブルジョアの偏向たらしむるものである。

アナルコ・サンチカリズムは、フランスに於ける産業資本主義の獨特の發達を土臺にして發達した。この獨特性は經濟の小ブルジョアの性質に、工業の集積の弱いことに、プロレタリアートと手工業との密接な結合に、國の政治生活の特殊性の中に現はれてゐる。組織の弱いフランス社會主義内部の頻繁な分裂と、フランス國會議員の腐敗とは、僅かしか集中されてゐずに小經營に分散してゐるプロレタリアートの中に、無政府主義的思想をつくり出したのである。尙ほ又社會立法が僅かしか發達してゐないことを併せ考慮するならば、我々は、フランスのプロレタリアートが何ら彼らにとつて役に立たない議會制度を早くから拒否する態度をとり、かくして政治闘争の必要を過少評價した根據を、ハツキリと理解することができるのである。

サンチカ（地方組合）は自主的労働組合の原則によつて樹てられ、組合聯合（全國的組合）を

結成してゐる。各地方組合は自主的であり、組合は支拂能力のある金庫の必要を拒否する。

トレード・ユニオンズやアナルコ・サンチカリズムとちがつて、産業資本主義時代に於けるドイツの労働組合運動は、階級闘争と、政治××をプロレタリアートの手に移すことによつて一の社會主義的社會制度を創造する必要から出發する。これは、前述の労働組合運動の型に比し、組織がより廣汎な點に於て、分散がより少い點に於て、中央集權化がより大なる點に於てそれと區別される。これはイギリスのトレード・ユニオンズの特徴とする同業組合精神とは違つて、産業別に結成されてをり、サンチカリズム的組合の聯合的構成原則を拒否する。ドイツの労働組合運動は、ドイツのプロレタリアートの唯一の政黨たる社會民主黨の成立と共に起つた。黨は屢々抵抗を受けながらも労働組合の成立を促す。そして産業資本主義時代の國の暴風のやうな發展は、一の巨大な労働豫備軍の存在と並んで革命的意識を労働者階級及び労働組合運動の中へ急速に發展させるための前提條件をつくり出す。ドイツの労働組合はプロレタリアートの政黨の援助の下にその闘争を遂行するのである。

ドイツの社會民主主義的「自由な」労働組合は、その發展の途上に於て、前世紀の九十年代

に行はれたドイツ資本主義の帝國主義段階への移行の結果、自ら變化した。労働組合運動の他の二つの型たるトレード・ユニオンズ並びにサンチカリズムに於ても、同様の發展は同様の變化を起さしめた。

三、帝國主義と労働組合運動

十九世紀の終末に當つて、資本主義は一の新しい發展段階たる帝國主義の段階へ移行始めた。帝國主義——資本主義發展の新しい段階——は近代資本主義社會の段階であつて、そこでは銀行資本は産業資本と合成し「金融資本」、生産の領域には産業の集積から生じた獨占が出現する。獨占はその銀行との緊密な結合のおかげで、尨大な規模に達することが出来た。シンチケート、カルテル及びトラストは、全近代工業を結合する。

帝國主義は産業組織の體制を變へる。産業資本主義の時代には互に相競争する小經營が問題であるとすれば、この帝國主義時代には一の統一的組織即ちコンツェルン、トラストへ結成した大經營が問題なのである。

生産統制を指すこの結成は、労働者と經營との關係に一の新しい事情をつくり出す。帝國主義の下では、重工業の大經營は他のものに對して特權的な地位を占める。生産手段を作る重工業は先づ第一に軍備のために作業する。かゝる經營のもつ意義は、帝國主義時代には著しく大きい。かゝる産業部門は、消費物を製造する産業部門よりも遙かに良好な條件の下にある。つまりその所有者は高い利潤を獲得する。即ち一方では經營のより高度な生産構成の結果としての超過利潤を獲得し、又一方ではカルテル収益、——即ち獨占を保護する國家の壓力のおかげで作られ、そして又金融資本が剩餘の手段を部分的に投下してゐる植民地からの高額收入によつて作り出されるところの追加利潤を獲得する。

この現象は夫々の生産部門に於ける勞資の間に、一時的な共通利害の基礎を作り出す。かゝる共通利害の現はれを、我々帝國主義時代に於ては生産手段の生産に、獨占的産業部門に従事する労働者の賃銀が他の産業部門に働く者の賃銀よりもはるかに高額であるといふ事實に於て見るのである。これらの労働者群の高額の賃銀は、實にこれらの産業部門が植民地の搾取と緊密な聯關をもつてゐるといふことによつてハッキリと説明出来るのである。

資本家は植民地を搾取し、植民地から植民地的超過利潤を獲得してゐるが故に、その超過利潤の一定の小部分を、生産手段の生産のための産業部門に従事してゐる労働者の賃銀を高めるために使用する可能性をもつのである。かゝる理由から、これらの労働者は帝國主義の凱旋車に急速に繋がれてしまふのだ。

かゝる生産部門に於ては、賃銀は帝國主義の時代に於て（戦前）上昇的傾向を示した（註一）。このことは、この部門では賃銀は生産物原價の極小部分しか占めないといふことによつて、明白に理解できる。賃銀が生産物の生産原價の％にしかならないやうな産業部門に於ては、賃銀が原價の七五％に上る産業部門に於けるよりも、賃銀引上を行ふことがはるかに容易なことは明かである。かくして重工業に於ける労働關係は、労働者の間に、彼等の利害と企業家の利害とは一致するといふ幻想を屢々呼び起すのである。労働者運動に於ける日和見主義こそこの幻想の表現に外ならない。

（註一）賃銀について言ふ場合、労働者に現金で支拂はれるものと言つてゐるのであつて、社會的生產物に對する労働者の分け前を言つてゐるのではない。益々増大する労働者の搾取の結果、社會的總收入に對する、労働者の分け前は絶へず減少する。労働能率は労働者の賃銀

よりも遙かに幾層倍も急速に増大する。

然しこの賃銀昂騰の傾向と並んで、帝國主義の時代には又これと正反對の傾向、即ち生産行程の機械化と自動化によつて呼び起された労働力の資格が均一化される結果起るところの賃銀の低下も亦見るのである。一方に於て工場内の機械と運搬施設とは不熟練見習労働者を驅逐する、が他方には又自動機械の使用は熟練専門労働者をも驅逐する。この熟練専門労働者の型は、手工業の時代に作られたものであつて、産業資本主義の時代に廣汎に使用されたものである。これらの労働者の兩つの型の代りに、修業はしたが資格が半分しかないといふ労働者の新しい型が現はれた。これは複雑な機械の仕組の取扱ひ方を知つてはゐるが、何等職業的素養を積んではゐないのである。かゝる労働者は、一部の労働者から他の部分労働へ簡単に移ることが出来る。帝國主義時代に於ける労働者階級の勢力の増大は、かゝる集團が労働者階級の中に増加するといふことによつて達せられる。生産に従事する労働者の總數はたゞ戦前の時代に於てのみ増大したに過ぎず今日アメリカ合衆國に於ては、生産の擴大にも拘らず就業労働者の數の減少を見るのである。産業資本主義の時代に於て労働者の總數が増大し、この増大が生産の擴張と歩みを揃へてゐたとす

るならば、帝國主義の時代に於ては、生産の擴張は、生産に従事する労働者数の大いさの増大よりもはるかに急速になされるのである。

帝國主義の時代に起つた労働力の均一化は、同一經營の内部に於て賃銀に關しても亦或る程度の單一化が行はれるといふことに役立つてゐる。然し、さきに見た如く賃銀といふものは、帝國主義の時代に種々な經營の持つてゐる特殊な事情によつて決定されるものであるから、この賃銀の單一化は種々な生産部門の労働者の賃銀額の差異をなくし得るものではない。

帝國主義の時代には、資本主義は労働組合の闘争方法の變更を促す。以前産業資本主義の時代には、労働組合は、労働者の利益のためのその闘争に際し、他の同種の經營と相競争する個々の經營に係り合ひ、資本家相互の間の競争をば労働組合の任務の實現のために利用し得たとしても帝國主義の時代に於てはこれと正反對の現象にぶつつかるのである。概して現在の諸條件のもとに於ては、長期間自己の經營の作業を休止させることは資本家にとつて有利でない。といふのはかくの如き作業休止は同經營に投ぜられてゐる老大な資本を廢かせておくことになるからである。更に資本の組織化に於ける近代の株主形態は労働組合にとつてストライキ闘争を困難にする。

一九〇七年のドイツに於ては、資本組織化の株主形態には、經營總數の六%、全就業労働者の四〇%が屬し、一九一四年のアメリカ合衆國に於ては經營總數の四八%、全労働者の九〇%がそれに屬した。これらの場合に於て労働組合は、その手に國家權力に至るまでの、あらゆる闘争手段を掌握してゐるところの組織された大資本に對抗するのである。國家權力は帝國主義の時代にはコンツェルン及びトラストと合成してをり、しかもその點では資本家の獨裁が共和國の形をとるか、或ひは君主制の形をとるか、それとも又民主制或ひは又ファシスト的「身分制國家」の形をとるかどうかは問題ではない。これに相關聯して帝國主義時代に於ては、改良主義的指導者は、ストライキを賃率契約や賃率協定や強制調停制度によつておきかへることに努める。

労働組合運動の内部に改良主義の成長を促進するこれらすべての現象に加へるに、労働組合は帝國主義の時代に於ては産業資本主義の時代に於けると同様にその陣列の中へ何よりもまづ賃銀の高い有資格者労働者階級の上層の、即ち労働者階級の中資本主義がなほまだ特別の特権を與へ得る分子を結合してゐる。このことは特にアメリカに於て明白であつて、ヨーロッパでも亦或る程度まで見るところである。労働組合に組織されてゐる「労働貴族」の一部が、特別利益を獲得

せんがために、しかもそれは、ストライキの放棄とストライキに代ふるに闘争によらずして保持して来た賃率契約を以てすることによつてだ——労働組合を利用することは明白である。労働組合官僚はまさにかかる集團に支柱を置くのである。改良主義の指導下にある労働組合は、帝國主義時代に於ては、ストライキよりも、闘争によらずして協同的取引によつて企業者から承認された賃率契約の方を選ぶのである。不熟練労働者達は、彼等がヨリ激しい搾取の下にあることからして一の革命的要素を形成してゐるが、改良主義の指導下にある労働組合はこの不熟練労働者に對して系統的に闘争し、彼らを助けて労働条件の改善を獲得させやうなどといふことはテンデ考へもしないのである。

帝國主義時代に於ける労働組合の指導機關の構成は、労働組合の變化した活動条件に應ずるものである。産業資本主義とその時代のストライキとは、労働組合の指導者に企業に對する知識とストライキ中労働者を導き得る能力とを必要たらしめた。労働組合の用ひた激しい闘争形態の要求するところに應じ得たところの指導者と並んで、特にイギリスに於ては、労働組合指導者のも一つ他の型、即ち平和的方法によつて労働組合の諸要求の實現を貫徹することを知つてゐる「策

士」の型が生れた。この型に屬するものは、企業者間の對立を利用し、一方を他方で牽制することをやらねばならなかつた。かくして労働組合の指導者が策士へ發展したのである。

かくして労働者の「策士」指導者は、帝國主義時代に於ては資本主義にとり特に必要である。これらの労働組合官僚幹部達は、線の卓を圍んでの勞資の對談や、協定や賃率契約の複雑な形態や、調停制度や、帝國主義時代に於ける労働組合の活動の内容を成すところのすべてのことを通じて養成されるのである。更に又労働組合官僚は、労働者に比し、又労働者の上層に比してさへ遙かに良き物質的條件の下に生活してをり、そしてその物質的安樂は、たゞ企業家に對する闘争を平和的方法でやることによつてのみ確實なものとされてゐることを考慮する必要がある。彼等は高額の俸給を受け、資本主義に結合し、労働組合の指導者として闘争すべき當の相手の資本家と取引する。かくして労働者階級の利益を裏切るところの労働者の指導者の型が發達して行くのである。

帝國主義時代は世界經濟の時代である。この時代は各國労働組合に對し同一の活動條件をつくり出す。労働者階級に對する帝國主義の政策と、この政策への労働組合の順應とを規定してゐる特

徴的要因のすべてが、各國労働組合の特殊性、即ち一國の労働組合と他の國の労働組合とを區別する特色を抹殺してしまふ。産業資本主義の時代には労働組合運動の三つの主要型があつたとすれば、帝國主義時代には労働組合運動にはたゞ二つの基本的傾向が現はれるだけである。一方の側には、尙ほ依然として資本主義の埒内で特殊利益を得ようと望んでゐる労働者階級の一部の者が帝國主義に對し持つてゐる態度を表現したものである。この改良主義があり、他方には、労働者階級の狀態の改悪に對し防衛に立ち更に逆襲に進出するところの労働者階級の利益の表現としての革命的傾向を見るのである。

帝國主義時代には、種々な國々の労働組合内の改良主義は高速度で發達する。労働組合運動の内部に於て改良主義と對立する革命的傾向は、未だこれに對して充分な抵抗を與へ得ないでゐる。イギリスに於ては、労働組合運動はたゞその資本主義的經濟制度への順應の形態を變へたに過ぎず、その内容に至つては全然少しも變つてゐない。イギリスの労働組合運動は、政治行動を認めはじめ、「労働黨」をつくり、組織の職業別形態を放棄しはじめ、その陣列を擴大しはじめてゐる。にも拘らず、それは依然としてたゞ資本主義的社會制度の内部での改良の實行を目指してゐる。

ただである。フランスのサンチカリズムに至つては、資本主義的經濟制度に對する彼等の小ブルジョア的、革命的立場さへも、更にその革命的な主要闘争方法たるゼネラル・ストライキさへをも放棄してゐる。ドイツの労働組合運動は徹底的に資本主義的經濟制度の先頭に立つてゐる。

これらの傾向は、すべて既に戦前の労働組合運動の中に現はれてゐたのであるが、帝國主義戦争の時期にはこの傾向は全く明白に現はれてゐる。すべての國々に於て労働組合の指導者等は社會民主主義と同様に完全にブルジョア側の側面を改更へしてゐる。嘗て祖國防衛に奉仕したときやうに、經濟的景氣向上を引き入れるために改良主義的労働組合指導者等は、公然の愛國主義から労働者の利益のための闘争ならどんな闘争でも拒否してゐる。彼等は終局目的たる社會主義のための闘争を取り止める。彼等は國家權力やブルジョア側の機關と合成し、これらを援けて擡頭し來る革命的労働者運動と闘ふのみならず、資本主義的反動の前衛闘士にさへなつてゐる。改良主義と革命的労働組合運動との差異は深まり、帝國主義戦争の後即ち既に始まつた社會××の時代には、この差異は一の尖鋭な闘争へ、分裂、脱退、除名、等々にまでゆく。これはすべての國々に共通の現象である。國際労働組合運動の中に世界労働組合運動の二つの中心が形成され

てゐる。即ち（アムステルダム）國際労働組合同盟（IGB）と、國際赤色労働組合（RGI）がそれである。

考査問題

- 一、如何なる原因が労働組合の發生に導くか？
- 二、資本主義の種々な發展段階に於ける労働組合の任務は如何なるものであるか？
- 三、ヨーロッパの主要國の労働組合の結合形態は如何？
その諸形態間に差異があるといふことの社會經濟的原因は何か？
- 四、これらの形態は帝國主義時代には産業資本主義時代と比べてどう變化するか？

第三講 國際労働組合運動の社會經濟的 問題

第一項 資本主義發展の現時期

本項の課題

資本主義諸國の革命的労働者運動の終局目標は、資本主義のXとプロレタリアXの樹立である。然しながら何時如何なる瞬間に際しても、運動全體又は資本家に對する労働者の個々の行動の任務を正しく決定し得るがためには、この終局目標を見究めねばならぬばかりでなく、敵の力をも亦正當に評價しなければならぬ。資本主義が尙ほ強大であり、發展しつゝあり、更に繁榮する能力を示してゐるならば、そこから我々は一の方法で以て我々の任務について推論を下す。然し資本主義がつひにドタン場に達し、もはや再生し得ないならば、我々は他の結論を引き出

す。かくしてこの項の課題は資本主義發展の現時期に分析を加へ、そして資本主義諸國の革命的労働者運動と、革命的労働組合運動の具體的任務を立てんがために、資本主義が果して尙も繁榮し得るか否かを、この分析を基礎として研究することである。

かくして我々は次のやうな論題を研究しなければならぬ。

一、資本主義の近代帝國主義的段階は一般に如何なるものか？

二、最近數年に於て資本主義の主要な矛盾は如何なる方向へ發展しつゝあるか？

1 資本主義戰後發展の三つの時期

2 資本主義的合理化の本質

3 第三期の主要な諸矛盾

三、資本主義が平和裡に社會主義へ成長してゆくといふ組織化された資本主義についての論議は

何故にすべて不合理であるのか？

四、現段階に於ける革命的労働者運動、殊に革命的労働組合運動の最も重要な任務は如何なるも

のであるか？

第一問 資本主義の近代帝國主義的段階は一般に如何なるものか？

既に六十年前、カール・マルクスは、資本主義の理論的・歴史的分析の方法によつて、資本主義的經濟制度の全體制の主要な槓杆たる自由競争が生産の集積をつくり出すこと、及びこの集積はその發展の一定の段階に於て獨占到導くことを證明した。そして一九一六年にレーニンは「獨占は既に事實となつてゐる」と書いた。

さて獨占經濟とは如何なるものか？

相互に競争する資本家の競争の過程に於て、個々の資本家が、その經營を併合せしめ、原料の購買市場と生産物の販賣市場で支配的な地位を占め、且つその競争者を無慈悲に打ち滅ぼすか、それを併呑せんがためになすところの相結合せんとする完全に明白な努力が展開される。かくして巨大企業、即ちトラスト、カルテル——その手に時として國の全生産の殆ど四分の三が集積されてゐる——が相次いで起つてくる。その例として、イギリスに於て現實に獨占的地位を占めてゐるイギリスの石鹼トラストや、スウエーデンのマツチ・トラストや、ドイツの石炭カルテルや、

アメリカ合衆國の「スタンダード・オイル」石油トラストを擧げることができる。他方に於て集積された産業資本と同様に集積された銀行資本（註一）との合成は、ホンの一握りの獨占者達が、無制限に富をつくり、彼の生産物の價格を勝手氣儘に人民に負はせることを得しめるばかりでなく、その國家の對内政策及び對外政策を左右するを得しめるのである。かゝる事情の結果は、つひに個々の國家の頂點に資本家團體が立ち、全世界は益々ひどく個々の資本家團體の間に分割されるに至つた。

（註一）レーニンは金融資本の概念を次のやうに定義してゐる、——「生産の集積、これから生ずる獨占、銀行と産業との融合若くは癒着、——これを以て、金融資本の發生史並びにこの概念の内容は特徴づけられる」（希望閣版「帝國主義論」六九頁）。

これらの一握りの獨占者にとつては、彼等の資本を工業が微弱にしか發展してゐない諸國へ移すことが利益であつて、かゝる諸國に於ては彼等は自國の産業に投資する場合よりも遙かに高い利潤を得ることができるのである。

かくの如くにして第一に工業生産の終局の限界が人工的により狭く引かれ、そして第二に世界は二つの部分に分解される。即ちその一つの部分は債權者たる少數の國家から成り、他の部分は債務者たる非常に多數の國家から成つてゐる。かくしてその結果、民族的抑壓が強まり、弱小國に對する、更に又特に植民地半植民地に對する強國の（帝國主義的）掠奪努力が高まりつゝある。然し自由な（即ち未だどこにも掠取されてゐない）植民地はもはや存在しないからして、個々の資本家群の闘争がこれ以上續くならば、世界を再分割すること、即ち既に一度分割された諸國を武力によつて互に××××ことあるのみである。

さて、それならば、近代帝國主義的發展段階に於ける資本主義の役割はどんなものであるか？

1 獨占價格の決定は、技術上の進歩、従つて又その他如何なる進歩、社會の如何なる前進運動への衝動をも弱める。

2 人民の側の購買力を伴へる需要が足りないために喚び起された生産規模の人工的制限の結果は、それ自身社會的需要の一層の制限を來し、社會の生産力の發展を妨害する。

3 金融資本の役割の増大の結果は金利生活者の層を擴大させる。この金利生活者らは、「利札を切る」ことによつて生活し、何ら如何なる生産活動にも參與せず、社會有機體にくつついてゐる寄生虫である。しかのみならずこの寄生的生活方法は、總ての國々にひろがり、ブル

ジョアジの國家體制に固有の本質となるのである。

4 人類に非常な犠牲を拂はせるところの新しい戦争の危険が高まつてゐる。

これ即ちマルクス並びにレーニンも亦この獨占的資本主義（即ち帝國主義）を一の寄生的な腐敗しつゝある資本主義と云つた理由である。社會はその肢體にくつついてゐるこれらの寄生虫をこれ以上我慢することは出来ない。ブルジョアジー×××、社會の生産力を解放し、より一層の未會有の急速な發展のための前提條件を創造する新たな階級は、たゞプロレタリアトであるのみである。

第二問 資本主義諸國に於ける革命的労働組合運動はどうして發生し且つ強化したか？

1 資本主義戦後發展の三つの時期

資本主義の戦後發展の全期間は三つの時期に分けられる。

第一期は、特にヨーロッパ諸國に於ける激烈な革命的危機の時期である。即ち、一九一七年ロ

シアに於ける二月革命と十月革命、一九一八年オーストリー及びドイツに於ける十一月革命、一九一九年四月バヴアリアに於けるサヴェート共和國の樹立、一九二〇年九月イタリアに於ける労働者の工場占領、一九二一年ドイツに於ける三月行動、一九二三年九月ブルガリアに於ける暴動、一九二三年のドイツに於ける革命運動。これらの事件は、資本主義經濟制度の崩壊を、そして何よりも先づ第一にヨーロッパの資本主義の崩壊を極めて尖鋭に示したものである。

西ヨーロッパの資本主義は辛うじてこの直接的革命的情勢から脱し、それ以後その發展の第二期に入つた。この時期に資本主義は、歐洲戦争と革命から受けた傷を癒し、その經濟を戦前の水準にまで高め、時として著しい範圍に達したプロレタリアトの防衛闘争にも拘らず、或る程度に平穩状態と秩序とを獲得し、加ふるに又部分的安定の外觀をさへ獲得することができた。

第三期は「資本主義の全危機の成長の時期であり、帝國主義の内的及び外的諸矛盾の加速度的尖鋭化の時期である。そしてこれらは不可避的に帝國主義戦争を生み、最大の階級衝突を生み、主要なる資本主義諸國に於ける新しい××的昂揚の展開の時期を生み、植民地に於ける大きな反帝國主義××を生む」(國際××第十回執行委員總會)。この時期には總の工業に生産合理化の

種々なる方法が廣汎に使用される。

工業の領域に於て獨占結合が著しく急速に成長する。既に今日單に國家機構と結合せんと努めてゐるだけでなく、それと實際に組織的に融合せんと努めてゐる。獨占の特定の努力が極めて明瞭に現はれてゐる。特にアメリカ合衆國の大統領たるフ、I、ヴァ、I、は、この資本主義の國家資本主義への轉化の傾向を明白に表現してゐる。彼はブルジョア國家の最高首腦者であるのみでなく同時にアメリカの「實業界」即ちアメリカの取引所アメリカの工業家の本來の指導者でもある。

2 資本主義的合理化の本質

先に我々は最後の「第三」期に起つた資本主義的合理化に言及した。然し技術的及び經濟的進歩だけが資本主義的合理化の基礎並びに固有の本質を成すものではない。その本質は、勞働者を自動的に驅使し、現實の勞働強度を統制する方法によつて、勞働者の勞働強度を出来るだけ高めんとする點にある。

言ひ換へれば、資本主義的合理化は企業家の利潤を増大させる手段であり、且つ市場狹隘化の結果社會的生産の總量を増大させる見込はないといへ、合理化は、すべての勞働者から最大量の生産物を得ること、しかもそれを勞働生産性の増大によるよりも寧ろ勞働強度の増大によつて得ることを任務としてゐるのである。(註二)

(註二) 勞働生産性の増大は、マルクスによれば、勞働者に以前と同一の勞働量で以前と同一の間内により多くを生産する能力を發展させることである。これは主として生産手段の完成によつて達せられる。ところがこれに反して勞働強度の増大は、同一時間單位内に支持される勞働量を増大せしめることであり、勞働力の緊張を高めること、勞働時間のすべての間隙をより密に填めること、即ち勞働の凝縮、勞働時間の壓縮であり、或ひは又、マルクスが表現したやうにより大なる量の勞働を、一定の時間の枠内に無理に押し込めることである(一九二九年國際共產黨第十回執行委員會總會に於ける同志ク、I、シ、ノンの報告より)。

資本家が個々の勞働者の勞働強度を高め得れば高め得る程、益々大規模に彼等は過剩勞働者の大衆的解雇を行ふ。そしてこのことは失業の間斷なき増大を結果する。熟練専門勞働者も亦失業し、他所で新らしく仕事の口を得る見込みは著しく少ない。その他にも、資本主義國家は、それ自身同様にこれらの失業者に再び職を與へ得るなどとは思つてもゐないが、失業者に對する扶助金を系統的に削減してゐるのである。

同時に獨占資本は（さうでなかつたら獨占資本でないわけだが）獨占價格を——即ち商品に對しては極度に高い、労働に對しては極端に安い獨占價格を確定する。そしてこの事情の結果は、労働者階級の生活水準を低下させる。

労働賃銀が引上げられ、時には労働者の實質賃銀が増大してさへある場合にも、労働者の一般的生活水準は低下する。何故なら賃銀の引上げは、決して労働力の異常な過度の緊張の結果餘分に亂費された労働エネルギーに釣合ふものではないからである。（註三）

（註三）何故ならこの場合には、實質賃銀の引上げてさへも、尙ほ労働力の價值以下に止まるからである。

労働強度の増大がそれに相當した労働時間の短縮によつて償はれないこと、充分な労働者保護施設がないこと、労働緊張の正常の生理的限界が嚴守されないこと、等に注意するならば、資本主義的合理化に關して次のやうな結論に達することができる。

イ、資本主義的合理化の技術的及び經濟的完成の基礎をなすものは、労働生産性の増大ではなくして労働強度の増大である。この完成はより一層の成長を目指す社會的生産力の自然的な

努力に對して全く貢獻しない。反對に近代資本主義は、科學と技術の成果を基にして可能となつてゐる等の社會的進歩の發展を著しく制限してゐる。

ロ、資本主義的合理化は労働者階級の生活水準を低下させ、彼等の生理的消耗を高める。これら二つの事情は、不可避的に労働力そのもの、破壊をひき起す。

最後に資本主義的合理化は決して社會生産體制としての資本主義を鞏固化することを意味しない。その反對であつてこの體制の中に於ける崩壞の要素を増大せしめるのである。

それ故に、我々の住む戦後資本主義の第三期に於ては、資本主義的合理化の結果として資本主義經濟制度のあらゆる矛盾が尖鋭化するといふことは、完全に理解される。

3 第三期の主要な諸矛盾

戦後資本主義の主要な諸矛盾の一は、サヴェート同盟の存在と並びにプロレタリア××の最初

の國に於ける社會主義の成功的建設の事實である。この國は全世界のプロレタリアートにとつて××的行動の模範であり、その××であり××闘争に於ける輝かしき先例である。サヴェート同

盟に寄せる労働者の同情は成長しつゝある。全世界の労働者がサヴェート同盟のプロレタリアー
トに與へる思想的及び實踐的支持は廣まりつゝある。資本主義の體内に闖入したこの「異物」
は、この有機體を××し、この有機體が起つて以前と同様な前進をする可能性を××つゝある。
この理由からして、資本家は、サヴェート同盟を窒息せしめんがために、經濟的及び財政的封鎖
から直接的武力襲撃に至る迄のありとあらゆる計畫を立てゝゐる。たゞ「ロシア問題」に關して
彼等の陣列に統一が缺けてゐること、「膝下から」、××が勃發することの恐怖とが、今日まで彼
等がこれらの計畫を實施するを妨げて來たのである。それにも拘らずサヴェート同盟に對する帝
國主義列強の戰爭の危険は單になくなつてゐないばかりか、日に益し増大しつゝあるのである。

資本主義諸國自身の間の諸矛盾

資本主義體制の有つても一つの主要な矛盾は、資本主義諸國そのもの間の對立である。この對
立の中心にイギリス對アメリカの抗争がある。この抗争の基礎をなすものは、世界市場を制覇せ
んとする兩國相互間の競争である。この最大××國間の抗争を軸として、より弱少の諸國間の、
——即ち英佛のプロツク對ドイツ、ドイツ對ポーランド、イタリー對ユーゴスラヴィア間——

の對立がその周圍を廻つてゐる。これらすべての資本主義諸國間の抗争の目的物は、何時でもキ
マツて賠償問題であり、植民地半植民地への帝國主義者の一層の侵入の問題であり、金融資本の
投資市場と生産物の販賣市場とのための闘争である。すべてこれらの闘争は、戦争による外解決
され得ない。然し何れの國にとつても戦争に最も適當な瞬間を選ぶことが是非とも必要である。
それ故に何れの國も、一方に於ては、不可避的に切迫し來る戦争に對して熱心に武裝し、準備
を整へ、しかも他方に於ては「永久の平和」に關するありとあらゆる商議を行ふのを常とする。
この商議は、本來各國にとつて、戦争がその國にとつてもはや危険でなくなり有利になる瞬間迄
戦争を延期する試みの意味をもつものである。

帝國主義列強と植民地の間の諸矛盾

資本主義の諸矛盾の第三のグループを成すものは、帝國主義と東洋に勃發しつゝある幾多の×
×との間の矛盾である。農業恐慌が尖鋭化した結果として、支那には革命的労働者農民運動の新
らしい昂揚が始まつてゐる。印度ではプロレタリア大衆と貧農の間の強力な動亂に伴つて、××
的事變が切迫した。成熟しつゝある××的行動の尖端は帝國主義者に向けられてゐる。世界資本

主義の没落の歴史の中に於て、東洋の××的運動は一の決定的役割を演ずべき定めにある。

資本主義諸國の國內階級對立

最後に矛盾の第四のグループを成すものは、最近非常に尖鋭化した資本主義諸國內のブルジョアジーと労働者階級との間の對立である。この尖鋭化は、その性質とその規模との點で、戦後資本主義の第一期の昂揚とは著しく相異してゐるところの、労働者運動の新しい昂揚に現はれてゐる。

現在の昂揚の特徴は、とりわけ、この昂揚が單にヨーロッパ諸國だけでなくヨーロッパ以外の全労働者運動に於ても亦認められるといふことにある。我々は單にヨーロッパや、支那、印度の如き諸國に於てのみでなく、労働者運動が一般に始めて相當の規模を得始めてゐるやうな諸國、(中央及び南アメリカ、ラテンアメリカ、××、オーストラリア、フィリピン群島、等々)に於ても、激烈な社會的闘争を見るのである。

他方、第一期の昂揚は小さな××主義グループだけしか存在しなかつたやうな時代に生じたのであるが、現在の昂揚は、資本主義諸國內には多かれ少なかれ強力な××黨と××的組合とが存在

在し、その先頭には強力な指導的闘争中心たる國際×××及び國際赤色労働組合が立つてゐるといふ状況の中に生じてゐるのである。

現時の昂揚の第三の特徴は、労働者運動に於て、社會民主主義が占める役割、及びこの社會民主主義に對する労働者大衆の態度が全く異つて來てゐることである。以前には、社會民主主義はプロレタリアートの××に反對して民主主義の、サヴェート體制に反對して形式的政治的自由の政治的ストライキと暴動に反對して労働者の經濟闘争の支持者として立ち現はれたとしても、今日に於ては「産業平和」の政策の一貫せる擔當者たる社會民主主義は、既に公然と一切のストライキに反對し、經濟的ストライキに對してさへも又反對を宣明する。現實にはストライキを破りストライキの際には眞のストライキ破りを働き、革命的分子に對してはあらゆる慘虐性を發揮して襲撃する。社會民主主義は現在ではファシスト的國家の支持者、その公然たる獨裁の支持者となつて、益々この國家と合成しつゝある。社會民主主義のこの政策は、廣汎な労働者大衆をそれから離反せしめてゐる。社會民主主義は益々、労働者運動の指導者たることを止めて、革命的労働者運動の最悪の、且つ最も良く組織された敵に變つて行く。

だから最近に於けるすべての國の労働者の行動は、外見上は純粹に經濟的性質のものであつても、鋭い政治的性質を帯びる。何故なら全世界の労働者は、經濟闘争の領域に於て重要な成果を得ることは、同時に、ブルジョア國家に支持されてゐるストライキ破りの社會民主主義に對し、又社會民主主義に支持されてゐるブルジョア國家に對して闘争を遂行することなしには、全然不可能であることを、實際的闘争の經驗に基いて日に増し確信しつゝあるからである(註四)。言ひかへれば、全世界の労働者は、起りつゝある闘争に於ける自分の經驗に基いて、レーニン主義の重要な根本原則の正しいこと、即ちプロレタリアートの經濟的闘争と政治的闘争との不切不離の聯關を確信してゐるのである。

(註四) 現在の經濟闘争の特徴の一つは、未熟労働者、未組織労働者、婦人及び青年がそれに參加してゐることである。詳細は次の講義を見よ。

結論

上述のことから、戦後資本主義、特に最近の時期の資本主義は急速に腐敗しつゝあるといふ結論を得る。いはゆる資本主義の「安定」の終滅は益々明瞭になつて來、資本主義諸國の間の、及

びその内部に於ける對立はいよいよ尖鋭化する。合理化も、重要な諸問題に關し相互間の了解に達せんとする試みも、資本主義體制の崩壊過程を遮ることは出来ない。況んやそれを止めることなどは思ひもよらぬ(註五)。この體制は没落の運命にある。歴史はすでにこの體制に××を宣告した。この判決の××こそは我々の時代の任務である。

(註五) このことは決して資本主義戦線の個々の部分に於て、種々な形の發展が可能であることの可能性を排除するものではない。この發展はもとより何ら疑ひもなく一時的性質のものであり、他の諸國における資本主義の没落によつて達せらるるものであつて全體としての資本主義的經濟制度の一般的崩壊を決して喰ひ止め得るものではない。その一例となるものはアメリカ合衆國の「繁榮」(經濟的隆盛)であるが、これはとどのつまり世界的性質をもつた巨大な一大恐慌へ轉化したのである。

第三問 資本主義が平和裡に社會主義へ成長してゆくといふ

組織化された資本主義についての論議は何故にすべて

不合理であるか?

それにも拘らず、資本主義の没落ではなく、却つて反對にその數世紀にわたる「持續的繁榮」

を豫言する人々がある。それこそ社會民主主義者や改良主義者であつて、彼等はブルジョア階級を支持する彼等の立場を正當化せんため、革命的運動の強大な流れを止めんがため、そして没落の運命にある資本主義の救済に労働者大衆を引寄せんがためにさへも、かういふ見地に立つことを必要としてゐるのである。

大體に於て、組織化された資本主義に關する改良主義者の理論は、次のやうなことに歸する。即ち、生産の集積の進行と獨占の形成とは、生産を一般の需要に従つて規制する可能性、即ち資本主義をその固有の（しかもそれから離すべからざる）生産の無政府性から解放し、資本主義的計畫經濟體制に轉化する可能性をこれに與へた。かくして競争は排除されるし、過剰生産の週期的恐慌も販路の制限も排除されるだらう、と。「組織化された資本主義」に關するこの見解を、プハリンを先頭とする國際共産黨及びサヴェート同盟共産黨内部の右翼も亦大體に於て抱いてゐる。いひかへれば、戦後の資本主義は戦前の資本主義と外見上何の似たところもない。資本主義は、戦前にそれを寸断してゐた矛盾のすべてから次第に解放されつゝあり、繁榮の新しい段階に入り始めてゐるといふのである。

それなら社會主義はどうなるのか？ 當然社會主義なんかはなくなるのだらう？

「さうぢやない、社會主義は存在するんだ」と、改良主義者たちは答へる。「組織化された資本主義は社會主義へ平和裡に成長して行くんだ」と。

さて改良主義者諸君は、資本主義の社會主義への平和的成長のこの行程を如何に考へてゐるか？

ヒルファディングが一つの解答を與へてゐる。――

「我々の時代は、意識的社會的規制の助けによつて、この組織化され且つ資本家に指導されてゐる經濟を、一の民主的國家に指導される經濟へ作り變へる任務に當面してゐる。従つて我々の時代に課せられた問題は社會主義以外の何ものでもあり得ないといふ結論がでてくる。」（キールに於ける黨大會でのヒルファディングの演説より）。

ここからまことに面白い考へ方が出て来る。つまりかうだ、――益々集中化されつゝある生産は獨占をつくり出す。獨占は國家と合成する。國家は民主的國家である。この國家を廣大な大衆が大衆自身の利益に即して管理する。従つて廣汎な大衆が大衆の欲求を顧慮しつゝ生産行程を管

理する。計畫性があり、競争や恐慌や戦争やその他の破局がなくなる。かくして純粹の社會主義が生れ、その組織者の役割にあるファシスト國家が生ずる！
然し未だこれだけではない！以上はたゞ一國に於ける社會主義である。全世界に於ける社會主義への移行は遠からずして来る。個々の社會主義國は互に社會主義的平和條約を締結すれば、もうそれでよい。そしてこの祝福されたる巨大な世界體制の先頭に、偉大なる平和創設者たる國際聯盟が立つのだ！

ところでこの「組織化された資本主義」の理論は現實に於ては何を意味してゐるか？
何よりも先づ「資本主義」と資本主義の「組織性」といふこの二つの概念を結びつけることそれ自身が、全く不合理である。といふのはこの兩概念は互に相容れないものだからである。既にこれらの概念を結びつけることが、資本主義についてのマルクス及びレーニンの學說——一歩一歩と見事に確證されつゝあり、改良主義的理論家でさへ嘗てその正當性を敢て否定し得なかつたところの——の基礎と矛盾してゐる。

然し「組織化された資本主義」の理論は一歩一歩と生活によつて覆へされてゐる。我々は前節

にこのことを示した。

生産の集中は一體競争を絶滅し得るだらうか？ 獨占は相互に競争しないだらうか？ 尖鋭化する市場競争の結果、世界戦争の危険が高まつてゐないだらうか？ そしてこの市場競争の競争はこの資本主義的競争の基礎をなすものではないのか？ 小商品生産者間の競争が絶滅されるといふのは正しい。然し競争は無くなるのではなくて、いはばより高い段階へ高められるのである。そしてかくすることによつてそれは資本主義の決定的矛盾の一つたることをやめはしないのだ。

然し「民主的」國家と集中された生産の管理を廣汎な大衆が勤めるといふ役割はどうか？ 我々はそれを上述の事と同様にハツキリと實踐に於て見てゐる。大衆の「民主的」國家の管理への「參與」の姿は、ファシスト警察、裁判所、監獄その他のファシスト的テロルの表現物の行動がこれを我々に示してゐる。この管理にはたゞ廣汎な大衆の社會民主主義的「指導者」が參與するだけであつて、しかも彼等は廣汎な大衆の利益の擁護のために打つて出るのでなく大衆の利益に反してさうするのである。でなかつたら大衆を管理のためにとて大砲の着弾距離へなんぞ決

してやりはしない。

我々は又労働者による集中化された生産の「管理」の實踐、所謂「經濟民主主義」なるものを知つてゐる。我々はイギリスのアルフレイド・モンド卿の化學コンツェルンの工場での「經濟民主主義」なるものを見たのである。そこでは「労働者委員会」が生産の頂點に立つてゐる。この労働者委員会は、一見サヴェート同盟の労働者委員会と全く同じに生産指導の任務を有つやうに見える。が然し第一にモンドの「労働者委員会」が、生産手段に對するモンド自身の私権とこの所有權の基礎に對して些かも手を觸れてゐず、モンドの行動に對して些かも影響を及ぼすものではない、といふ點に於て、このモンドの労働者委員会は、サヴェート同盟の労働者による生産管理の現實の制度とは非常に相異してゐるのである。「労働者委員会」の議長はモンド自身であつた。そして委員會の成員は資格の最も高い労働者、即ち彼の工場の労働貴族の上層からできてゐた。この「労働者委員会」には廣大な労働者大衆の自由な意思表示の痕跡だに無かつた。資本家に對し、議長に對してほんの一寸でも楯ついた者は即座に外へ突き出されたのである。

この「經濟民主主義」は労働者階級に對する一の組織的な欺瞞、即ち労働者大衆の革命化の進行を阻止しようとする常に同じ試み以外の何ものでもないのだ。

更に又、互に競争してゐる資本家達、その國家が互に和解することができるとか、これを基礎として社會主義達成の計畫を樹てることなど真面目に考へられるだらうか？ 否だ！ 眞面目な者は到底そんなことを眞面目に考へることはできない。資本主義の全歴史は戰亂的震撼の歴史である。戦争は資本家らが互に和解し得ないからこそ起るので。レーニンは常に強調した。帝國主義者の如何なる同盟も、よしそれが如何なる形態で取結ばれてゐるにせよ、それはたと戦争と戦争との間の中休みに過ぎない、と。

資本家が社會主義の組織者たる役割を演ずると考へるなどは無邪氣を通り越してゐる。だが然し同時に又「獨占的國家資本主義は社會主義の最も完全な物質的準備である」(レーニン)。獨占は現實に一の計畫經濟の前提條件をつくり出す。然しこの前提條件を有效ならしめるためには、資本主義を除去し、廣汎な大衆を眞に國民經濟の管理へ、國の支配へ、社會主義の實際的建設の指導へ引き寄せねばならぬ。計畫と資本主義とは互に兩立し得ない。

獨占の發展は社會主義の前提條件の形成へ導く。然し資本家等が權力を掌握してゐる限り、社

會主義の前提條件の發達は、生産の社會化の可能性とこの生産の資本主義的外殻との間の矛盾を高める。矛盾のこれ以上の發展は、つひにこの殻が破裂し、解放された社會の生産力が社會主義的發展の可能性をもつに至る點に迄導かざるを得ない。この瞬間が即ちプロレタリア××であり、サヴェート××の樹立である。

第四問 現段階における革命的労働者運動、殊に革命的労働組合運動の最も重要な任務は如何なるものであるか？

近代資本主義を死滅しつゝある資本主義と見ることから、どうせ資本主義は破滅して仕舞ふのだからそのために少しも力を消耗する必要はない、といふ結論を引き出してはならぬ。労働者運動の任務は、資本主義××××にその勢力を最大限に動員することである。

1 これがための最も重要な前提條件は、眞に革命的な××××による指導である。諸×××の闘争の経験は最近數年間に黨の力を著しく強めた。あらゆる日和見主義のあらゆる現はれに對する闘争は、××××をそのレーニン主義的方針のための闘争に於て鍛へた。多數の國々

に於て××××は既にプロレタリアートのあらゆる大衆行動の指導者となつてゐる。××××のこれ以上××××革命的労働者運動の最も重要な××である。

2 プロレタリアートの經濟闘争とその政治的任務とを切り離すことは、常に有害であつた。それをかく切り離すことは、資本主義經濟體制の××が我々の時代の日程に上つてゐる今日に於ては特に有害である。従つて、あらゆる労働者行動を、たとひそれが如何に小さいものであらうとも、又外面上純經濟的性質をもつものであらうとも、思想的に正しく指導することは、同様に労働者運動の最も重要な任務とならねばならぬ。

3 所謂「自由なる」労働組合はその社會民主主義的指導の下に、今日迄著しい程度に労働貴族、即ち高い賃銀を貰つてゐる労働者階級の上層の組織として發達した。従つてこれらの組合が思想的にブルジョアジーの方へ傾き、實際上ブルジョアジーの利益を守るからとて少しも不思議ではない。然し最近數年間に、從來未組織であつた労働者階級の新しい層が闘争へ引き入れられてゐる。特に、多くの闘志に満ちた良い労働者が、労働組合指導者の社會ファシスト的態度に反感を持つて改良主義的組合に背を向けてゐる。革命的労働組合運動の

任務は労働者を結束させること、そしてしかもその國の情勢に應じて革命的労働組合なり、或ひは労働組合革命的反對派なりへ結集させることである。

第四講 種々なる國々に於ける労働組合運

動の概観

第一項 資本主義諸國に於ける労働組合運動

本項の課題

本項の課題は、學習者に、現在國際的労働組合運動に於て演ぜられてゐる最も重要な諸過程を知らせ、以て次の諸項に於て種々なる國々に於けるこれら諸過程形成の様式を確認し得るやうにするにある。

全世界に於て、二つの相互に鋭く對立した闘争戦線、即ち世界資本の統一戦線とそれに對する世界プロレタリアートの統一戦線が、益々強く現はれて來る。事實に於て資本主義に對する積極

的闘争も出来なければ、同時に階級外の「中立」地帯に留まることも出来ない改良主義的労働組合運動は、益々公然とプロレタリア的統一戦線に對して反對の立場をとつてゐる。

だが大多数はなほ未組織であるところの労働者階級の間から、常に益々新しい革命的層が現れて来る。同時に革命的労働者の廣汎な層は、労働組合官僚の指導下にある改良主義的大衆的労働組合に背を向ける。かゝる基礎の上に新しい革命的労働組合運動が発生し、プロレタリア的統一戦線のため、ブルジョアジーの××のための闘争に於ける益々強力な要因にと發展してゐる。

この過程は國際的性質を有ち、種々なる國々に於ける労働組合運動を國際化する。この過程は國際労働組合運動の主要動因であつて、個々の國々の労働組合は、この過程を夫々の國々の經濟的的發展の特質に應じて獨特の様式で繰り返してゐるに過ぎない。

今日の國際労働組合運動に於ける最重要な諸過程を詳細に説明することが、本項の課程である。我々はこの目的のために次の諸論題を研究することにする。

一、どうして戦争は社會民主主義的労働組合をブルジョアジーの陣營に追ひやつたか？

1 戦前時の労働組合運動に於ける思想的對立。

2 戦争と社會民主主義的労働組合指導者の裏切。

3 あらゆる類型の社會民主主義的労働組合の思想的對立が労働者階級に對する裏切によつて消失したること。

4 國際罷業破りの組織者としてのアムステルダム労働組合聯盟の成立。

二、資本主義諸國に於ける革命的労働組合運動は如何にして發生し且つ強化したか？

1 國際赤色労働組合の成立。

2 國際労働組合運動に於ける分裂。

3 種々なる國々に於ける革命的労働組合運動。

三、廣汎な労働者大衆の獲得の見地より見た革命的労働組合運動の最重要な任務は何か？

1 改良主義的労働組合の急速なファツショ化と労働者大衆の獲得。

2 「一にも二にも統一」に反對して。

3 右翼、「調停派」及び所謂「左翼」に對する闘争は大衆獲得のための不可缺の條件である。

第一問 どうして戦争は社会民主主義的労働組合をブルジョ

アジの陣營に追ひやつたか？

1 戦前時の労働組合運動に於ける思想的對立

戦前に於いて種々なる國々の労働組合運動を相互に切り離してゐたあらゆる對立にも拘らず、全世界の労働組合は思想上（部分的にはまた構造上）から見て、三つの類型に分たれる。第一の類型の労働組合の思想上の代表者は、イギリスに發生したトレイド・ユニオンであり、第二の類型の代表者は、ドイツに發展した中央集権組合であり、第三の類型の代表者は、フランスに發生した労働者サンチカであつた。

トレイド・ユニオンは、あまり中央集権的でない主として職業別原則に基いて構成された組合の型であつて、組合員の状態を現存の資本主義的社會制度の埒内に於て改善する任務を旨としたものである。それは何等の社會主義的目標を有してゐなかつた。なるほどトレイド・ユニオンの大會の一つに於て、生産手段の社會化に關する決議が採用されたことはあつたが、しかしこの決議

は決して現實的意義を有つたものではなかつたし、誰もそれを眞面目に取つたものはなかつた。これに對しドイツの労働組合運動は全く異なる状態にあり、組織の堅固さと高度の中央集権化とで際立つてゐる。この運動は社会民主黨と密接に結合し、その指導の下にあつたし、今もさうである。フランスの労働者サンチカになると、これは現存の社會制度をゼネラル・ストライキによつて××し、生産手段を労働組合の手に掌握するといふ獨特の目的を有つたアナルコ・サンチカリズム的組織であつた。このサンチカは經濟闘争のみを承認し、政治闘争、プロレタリア政黨の必要、及びプロレタリアートの××を否認した。

2 戦争と社会民主主義的労働組合指導者の裏切

戦争は國際社会民主主義に、次のやうな絶對的最後通牒を發した。即ち、帝國主義戦争に参加して、自國のブルジョアジの利益のために、自國のプロレタリアートを他國のプロレタリアートに差し向けるか、それともプロレタリアートを自國のブルジョアジに對する闘争に導くか、と。

労働貴族に支持された労働組合指導者は、革命の妖怪に對する恐怖のあまり、第一の道——「祖

「國擁護」の合言葉を以てする労働者階級の利益の××の道——を選んだ。

労働組合とブルジョア國家機關との合成が始まった。すべての交戦國に於て國內平和が結ばれた。即ち労働組合は、罷業權及び數十年間にわたる困難な闘争によつて勝ち得たすべての既得權を放棄した。労働組合指導者は種々な官廳及び軍事工業委員會の活動に参加した。若干の労働組合指導者は、労働者代表として政府の要職にたづさはり、若干の社會民主主義者は直接大臣になつた。労働組合機構はその指導者によつて政府の處理に委ねられた。例へばイギリスでは、多くの労働組合は「義勇兵」徵募の役所にまで墮落した。労働組合指導者は種々の反労働者的な戦時法律の遂行を支持した。信じ難いほどの労働強化や、婦人及び青年の無制限な搾取も亦彼らの助力によつて達成せられた。労働組合指導者は、言論集會の自由及び罷業權の廢止、及び——労働者を特定の工場に強制的に指定する如き——労働者の移轉の自由の廢止などの、帝國主義政府の戦時方策に積極的に參與した。以前には資本に對する労働者の闘争の機關であつた労働組合は、戦争勃發後には階級協調の機關となつた。労働者の國際的團結のスローガンたる「萬國のプロレタリア、團結せよ！」は、ブルジョアジの利益のための労働者の××××のスローガン、たと

へば「祖國防衛」「勝利を得るまで戦へ」等々のスローガンに置き代へられた。

3 裏切はあらゆる類型の社會民主主義的労働組合の思想的對立を消失せしめた。

戦時に於ける労働組合指導者の裏切は決して偶然ではなかつた。トレード・ユニオンズの指導者は、常にストライキ闘争を、如何にしても避けねばならぬ害悪と見做してゐた。彼等は常に階級協調や、企業家との和解や、妥協政策の精神に貫かれてゐた。この精神はすでに、イギリス資本主義が未だ世界市場に獨占的地位を占めてゐた時代から、トレード・ユニオンズの運動を支配してゐたのだ。

イギリス帝國主義は、植民地から超過利潤を引き出してゐたおかげで、有資格労働者の最上層の大部分をいくらか高い賃銀で買収し得る状態にあつた。しかし獨占的地位が消滅してからも、なほかつ最も豊饒な植民地を有する（とはいへこれらはいはゆる「母國」から疎隔し始めてゐる）イギリス資本主義の帝國主義的性質の結果、ブルジョアジは以前ほどではないにせよ、なほも労働貴族を買収し得る状態にあつた。だからトレード・ユニオンズは、好戰的排外主義や愛國主義の花をも咲き誇らせた上等の培養土だつたのだ。

フランスの労働者サンチカもそれに劣らぬ階級協調のための良い地盤であることを示した。「サンチカリスト」達は、小ブルジョアの、無政府主義的な考へ方に魅せられてゐた。誇大妄想的な一見革命的に見える言辭——生産の社會化だとか、すべての經營の組織された生産者への讓渡だとか、ゼネラル・ストライキによるブルジョアジーの××だとか、×××××による反軍國主義闘争だとか、かうしたすべての言辭の蔭に、本來何らのプロレタリア的大衆組織も有たねば、プロレタリアートの解放へ導くための任務と進路についての明確な觀念も有たず、小經營的協同組合を基礎とする社會制度のユトピアに耽つてゐるところの、フランスのプロレタリアート——大多數は工業プロレタリアートでない——の不滿が隠されてゐるのである。サンチカリズムの小ブルジョア的思想は國際主義を殆ど有つてはゐない。小ブルジョア的なアナルコ・サンチカリズムが戦争勃發の後ブルジョアに味方したのは何ら怪むに足りない。

労働組合運動が社會民主主義の精神的指導の下にあつたドイツその他の國々に於ては、改良主義は、労働者運動内の小ブルジョア分子、特に高い賃銀を貰つてゐる労働貴族に支持されて多年に亘つてプロレタリアートの革命的運動を掘り崩し、労働組合の中に深く喰ひ込んでゐた。かく

して労働組合組織の三つの型の何れもの労働組合指導者が、戦争中ブルジョアジーの陣營に移行したことは、彼等が戦前取つてゐた政策の論理的歸結であつた。社會主義から遠く隔たつた視野の狭いトレード・ユニオンズの指導者と、ドイツ労働組合の社會民主主義的指導者と、フランスの労働者同盟のアナルコ・サンチカリスト指導者とは、ひとしく労働者の利益に對するかゝる徹底的裏切に加はつたのである。戦争はかくして労働組合運動の三つの型を互に同じ性質のものにしてしまひ、それらを一の公分母で約してしまつたのである。

4 國際罷業破りの組織者としてのアムステルダム労働組合聯盟の成立

國際労働組合と云ふべきものは戦前には元來存在してゐなかつた。一九〇一年にコペンハーゲンに於ける國際大會で創立された國際労働組合書記局は、云はば國際的な郵便函であつた。それはその任務をたゞ資材の蒐集と、その成員間の報道の交換に制限してゐた。一九一三年に書記局はその名前を變更し、それ以來國際労働組合聯盟と稱した。然も名前以外には少しも變るところがなかつた。一九一四年の大戦勃發後、國際労働組合聯盟は崩壊した。何れの國でも労働組合指導者は自國のブルジョアジーの陣營に住み替へた。國際的交渉について言へば、國際労働組合聯盟

盟は労働組合指導者によつて、その「祖國」のブルジョアジーの意を奉じて建て直された。それで例へば聯合國の労働組合指導者はその結合を全く單に聯合國に限り、ドイツやオーストリーやその他の反聯合國的聯盟諸國の労働組合と如何なる關係をも結ぶことを拒否した。然し交戰國の聯盟に屬してゐた國々の労働組合指導者達は、戦線や強固な城壁によつて互に切り離されてゐたにも拘らず、同一の原則によつて思想的に緊密に結びつけられてゐた。この同一の原則とは即ち、祖國のブルジョアジーとの和睦及び社會排外主義、これである。

ヴェルサイユ平和後に、敵國の労働組合の社會愛國主義者も亦相互に平和を締結し得ると考へた。平和の締結はベルンの會議で開始され、一九一九年アムステルダムに於てアムステルダム國際労働組合聯盟（I.G.B.）が創立されたことでその最後の調印を了へた。平和の締結の基礎をなしたものは、過去からの、即ち社會愛國主義や階級協調からの脱却ではなく、その反對に、階級平和及び階級協調の考へ方の一層の發展が同時にまた一國の限界を越えての、その國際場裡への擴大がその基礎をなしたのであつた。改良主義的労働組合官僚は今や單に一國の規模に於て労働組合とブルジョア國家機構とを融合せしめることに努力してゐるだけでなく、その代表を資本

主義國家の國際的團體へ派遣したのだ。アムステルダム・インタナショナルは、労働問題の國際的規制のために國際聯盟内に創立された國際労働局の創設に積極的に參加した。國際労働局の會議には規約により各國四名づつの代表が出席する。二人は政府代表で、一人が企業家團體の代表で、一人が労働者の組合代表である。かくしてアムステルダム・インタナショナルは、戰勝國の帝國主義者共によつて革命に對抗する際の支柱として、そして労働者大衆——労働者大衆にはこの國際聯盟は永久の世界平和の保證だと説き聞かしてあるのだ——を愚鈍にする特別の目的のために創立されたところの國際聯盟と融合してゐる。

第二問 資本主義諸國に於ける革命的労働組合運動はどうして發生し且つ強化したか？

1 國際赤色労働組合の成立

労働組合官僚によつて企業家の代辯者に轉化せしめられた労働組合は、ブルジョアジーとの協調の機關となつたのみならず、又ストライキ破りの組織者となり、暴力によるストライキ絞殺の

道具となつた。ストライキ闘争は改良主義的指導者等によつて、ブルジョアと労働組合との間に結ばれた和解に對する襲撃であるとして、「妄舉」なりと宣言され、ストライキ参加者に對しては労働組合は一切の支持を拒んだ。これがために労働者達はその労働組合を信頼しなくなつた。何故ならば労働組合はもはや労働者の利益を代表する機關でなくなつたのは勿論のこと、労働組合は明らかに企業家の利益を擁護することへ移つてしまつたからである。ところが戦争中、労働者の利益の代表を取上げた新しい組織が自然發生的に發生した。イギリスには工場代表委員（シヨップ・スチュアード）の運動が起り、ドイツには革命的工場代表者團（ベトリープス・オプロイテ）の制度が起つた。フランスでも、労働者同盟の列伍内の激しい動搖が顯著になつて強大な反対派が形成された。すべての資本主義國に於て労働組合運動の革命的翼が結成し始められた。

この運動は、最初は、集中化されてゐなかつた。全體をその周圍に結束し得るやうな中心點がそれになかつた。かゝる中心は、一九二〇年に「職業別及び産業別組合國際評議會」の形をとつて成立し、それは一九二一年に「國際赤色労働組合」（プロフィンテルン）と名づけられた。國際

赤色労働組合は、ブルジョアに對する労働者階級の闘争と、闘争しつゝある労働者階級の背後を襲ふところの、ブルジョアの代理人たる改良主義者を放逐するための闘争とを遂行するために、組織されたプロレタリアートの全革命的勢力を糾合することを目的とした。國際赤色労働組合は、當時社會民主主義の裏切の結果として革命的労働者が、改良主義労働組合から脱走し始めつゝあつたのに對して精力的に闘争した。國際赤色労働組合は、組合に組織された労働者大衆に革命的思想を宣傳し、改良主義的指導者の裏切を暴露するために改良主義的労働組合内に留まることの必要を、これらの労働者に明かにした。國際赤色労働組合は、すべての國々に於けるその支持者に労働者の多數者獲得の主要任務を課し、そして革命的労働者が改良主義的労働組合から脱退することは、大衆獲得のための闘争を無氣力に放棄することに外ならないといふこと、革命家にふさはしからぬところの敵に背を向けての逃走に外ならないといふことを彼等に明かにした。かく労働組合を放棄することは、裏切者の改良主義的指導者に有利であるに過ぎない。何故ならさうすることによつて、労働組合に組織された労働者大衆を改良主義的指導者の無制限な精神的支配に委ねることになるからである。

2 國際労働組合運動の分裂

當時國際赤色労働組合は、革命的労働者の氣分を一變せしめて、改良主義的労働組合からの脱走や、革命的労働者だけの小グループを結集した並行的な組合を創らんとする傾向をも亦、終結させることに成功した。この轉換は革命的労働組合運動のヨリ以上の發展に非常に好影響を與へた。改良主義的労働組合内部の反對派は成長して強大な勢力になつた。たとへばフランスでは一九二一年の労働總同盟のリアル大會に於て、革命的反對派は代議員の殆ど半數を自己の側から出してゐた。一九二一年末から一九二二年の始めにかけて、チエツコスロヴァキアの労働組合運動に於ても、ほとんども同様な勢力關係が存在した。改良主義者等は、革命的反對派が遅かれ早かれ多數を占めるやうになつて、労働組合内の改良主義者の支配はそれとともにおしまひになつてしまふだらうといふことを明かに知つた。そこで改良主義者等は自分の地位を保つために、數千人、數万人もの革命的労働者を除名することに着手した。地區グループや組合の全體が除名された。つひには一定の事情の下に於ては、革命的反對派は、その勢力の分散を防ぎ、數十萬の労働者が未組織のままに留まる危險に對抗するために、屢々並行組合を作るより外仕方がなくなつたのであつた。

3 種々なる國々に於ける革命的労働組合運動

フランス、チエツコスロヴァキア、ルーマニア、ギリシヤ、及びその他の國々に於て、改良主義者等は労働組合運動を分裂せしめた。これらの國々に於ては、改良主義者によつて除名された組合は独自の労働組合を創立した。だから、さういふ處では、一つは國際赤色労働組合に、一つはアムステルダム・インタナショナルに加盟してゐる二つの労働組合中央部が存在する。その他の諸國では、全體的分裂には至らなかつたが、しかしそれにも拘らず、革命的反對派と裏切的労働組合首脳部との間の闘争は常に益々尖鋭化しつゝある。

多くの國々では、革命的労働組合運動は非合法に追ひやられた。たとへばポーランド、ハンガリー、ユーゴスラヴィア、バルカン諸國、イタリー等々がさうである。植民地に於ては若い労働者階級は、一方には土着ブルジョアジーと封建制度、他方には外國の帝國主義の、二重の鞭の下に呻吟してゐる。支那では反革命的國民黨は、革命的労働組合運動の最良の指導者を殺害し、完全に國際赤色労働組合の旗の下に行進してゐた労働組合を解散し、その代りにファシスト的黃

色組合を養つてゐる。支那の革命的労働組合運動は極度の非合法の下にあるが、それにも拘らずそれは、この反革命的國民黨に飼はれてゐる組合の内部で活動する一切の機会を捉へてゐる。太平洋沿岸諸國の労働組合運動は、革命的階級闘争に立脚する太平洋労働組合書記局に結成してゐる。この書記局には、支那、日本、朝鮮、フィリッピン、及びインドネシアの革命的労働組合運動が加盟してをり、更に又オーストラリアの労働組合運動、イギリスの少數派運動、アメリカ合衆國の労働組合統一同盟、及びフランスの革命的労働組合同盟(C・G・T・U)が加盟してゐる。

ラテン・アメリカでは、國際赤色労働組合の支持者は、一方には改良主義者に對し、他方にはアナルコ・サンチカリスト——それはラテン・アメリカの大部分の諸國が經濟的に遅れてゐる結果として大きな勢力を有つてゐる——に對して闘争せねばならない。これらの國々に於ける革命的労働組合運動は最近非常な進歩をとげた。一九二九年にラテン・アメリカ労働組合聯盟が樹立された。聯盟には、ブラジル労働總同盟、ボリヴィア労働總同盟、ヴェネズエラ革命的労働者同盟、コスタリカ労働總同盟、キューバの全國労働者聯盟、メキシコ統一労働組合同盟、パラグア

イ労働者同盟、パナマ全國勞農總同盟、チリー労働總同盟、ウルグアイ労働組合同盟、ペルー労働組合同盟、及びアルゼンチン、グアテマラ、サルヴァドル、エクアドルの若干の聯盟や組合が加盟してゐる。

第三回 廣汎な労働者大衆の獲得の見地よりせる革命的労働組合運動の最重要な諸任務

1 改良主義的労働組合の急速なファツシヨ化と労働者大衆の獲得
改良主義的指導者の一團とブルジョア及びブルジョア國家機構との融合は、現在では益々破廉恥に行はれてをり、改良主義者等は、ブルジョアと協力してプロレタリアートのあらゆる革命的行動を鎮壓することによつて、公然と社會ファシズムの道を進んでゐる。ドイツとイギリスでは、ブルジョアは直接に改良主義者の手を藉りて労働者運動を抑壓してゐる。労働組合のファツシヨ化は急速で進行してゐる。

成程形式上は、改良主義的労働組合は、組合員が代表者を選出するところの民主主義的な組織

である。だが實際は労働組合の首脳部は罷免され得るものではなく、殆ど獨裁権力を擁して組合員大衆を威嚇してゐる。組合内デモクラシーは改良主義的指導者等により廢止されてゐる。イギリスの著述家バーナード・シヨウは嘗て次のやうに云つたことがある。「労働組合官僚を罷免することよりも、むしろ政府を顛覆することの方が容易い」と。労働組合首脳部の権力は事實上途方もなく強大なものであり、それが企業家や警察や裁判所と協働してゐる現在に於ては、殊にさうだ。労働組合官僚がたつた一言言ひさへすれば、反対派的な労働者は忽ち企業家の「黒表」に載せられて、最早仕事を見付けることが出来なくなる。

選挙の結果を誤魔化すことにかけては、労働組合首脳部はどんな國の腐敗し切つたブルジョアジーよりもはるかに優つてゐる。アメリカ鑛山労働者組合の黄色指導者ルイスが「選挙」を遂行したやり方を思ひ出せば充分である。此奴は單に彼の競争者に投じられた投票紙を破壊させたばかりではなく——組合官僚は投票函を「保管」してゐるのだから、この事なら彼にはわけないことなのだ——亦彼の競争者自身を、備つた刺客や盜賊の手で除去してしまつたのだ。かういふ手段のおかげで彼は何度も何度も再選されることが出来た。もう一つの例として、スコットランド

鑛山労働者組合の選挙を挙げよう。その選挙に際して舊執行委員会は、組合員の數次の投票により否認されたのに、新しく選挙された執行委員会に機構や會計を引き渡すことを頭から拒絶した。その結果は分裂であつた。革命的労働者はやむなく新しい組合を創立した。

2 「一にも二にも統一」に反対して。

國際赤色労働組合は改良主義的労働組合からの脱走に對して闘争した際に、決して労働組合運動の統一を偶像化しなかつた。労働組合運動の統一は決して目的ではなくして一の手段である。目的はプロレタリアートの革命的階級闘争と、この闘争へ労働者階級の多數者を獲得することである。労働組合運動の統一がこの目的達成のための手段であるかぎりに於て、我々は統一に賛成である。だが我々は改良主義的労働組合運動の統一を如何なる犠牲を拂つても維持する義務があるとは斷じて考へない。國際赤色労働組合は改良主義的労働組合からの脱走に反対し、革命的な小分派の中から並行組合を造ることに反対した。何故ならさうすることによつて革命的分子は小さな組合内に閉ぢ込められてしまひ、古い改良主義的組合内に残存する労働者大衆から切り離されて了ふからである。だがもしも強大な労働者大衆が革命的労働組合運動と行動を共にするのな

らば、その時は労働組合運動の統一は改良主義的組合の旗の下に於けるよりも革命的組合の旗の下に於ける方がもつと大きな成功を以て遂行され得る。

それにも拘らず若干の國々に於ける革命的労働組合運動は、「労働組合運動の統一」及び「統一戦線」のスローガンを偶像化して、それが決してそれ自身目的ではなくて大衆獲得の手段たるに過ぎないといふことを全く忘れてしまった。運動が分裂したフランス及びチェコスロヴァキアでは、赤色労働組合は「来るべき」統一のためを思つて、改良主義組合の地區グループが中央部から分裂し革命的労働組合運動に加盟せんと望んだのに對し、屢々その加盟を拒絶した。かゝる戦術を採ることによつてこれらの國々の革命的労働組合運動は、新しい支持者を獲得しなかつたばかりではなく、むしろ反對に労働者大衆の間の人氣を害した。統一のための「闘争」は屢々首脳部だけの結合に墮落し、改良主義組合の中央機關誌と革命的組合のそれとの間の限りない書簡のやりとりで墮した。

3 右翼、調停派、及び所謂「左翼」に對する闘争は大衆獲得のための不可欠の條件である。これらすべての誤謬や正しい方針の歪曲は、革命的労働組合運動に害を與へ、改良主義者の水

車に水を注いだ。だが就中最も大きな破壊活動をなしたのは、ドイツのブランドラー、ヤチエツコスロヴァキアのハイスの如き、革命的労働組合運動内の右翼日和見主義分子であつて、彼等は實際赤色労働組合第四回大會や國際共產黨第六回大會の諸決定で規定された新方針をサポートた。この方針といふのは、革命的労働組合運動に對し、全戦術に亘る攻勢へ、——「プロレタリアートの經濟闘争の獨立的指導と未組織者の組織化」のスローガンの下に敵の最重要な陣地向つて闘争することへ移るべく指示したものである。云ひかへるならば、それは革命的労働組合運動に對し、労働者階級の經濟闘争の準備と指導とを自ら取り上げて、この目的のために、工場内で組織未組織の全労働者から選挙された闘争指導部、乃至はストライキ指導部を作ること提議したのである。

この戦術は労働組合のすべての傳統と労働組合合法主義とから完全に手を切ることの意味した。改良主義者等が、それを適當な瞬間に無指導のままに放棄し又は絞殺してしまふといふ目的があつてのみ、ストライキ運動の先頭に立つのだといふことは全く明かであつたにも拘らず、それまではストライキ闘争の指導権は労働組合官僚の本來的な、固有の權利と見做されてゐた。未

組織者に關しては、それが改良主義者等の影響の下にあるときは、ストライキ破りと見做されてゐたのである。

國際赤色労働組合第四回大會で採用された新方針が、改良主義者、右翼、及び調停派の側からの組織的攻撃の結果として伴つたことは、勿論言ふまでもない。右翼はその眞實の社會フアシスト的な正體をたちまち暴露した。チエツコスロヴァキアでは、革命的労働組合中央部たる國際全労働組合同盟のハイ、及びその他若干の指導者等は、大多數の決定に服従することを拒んで、警察の助けを藉りて労働組合を乗取つてしまつた。

實踐が示した如く、右翼の豫言は實證されなかつた。新方針が正しく適用された處では、到る處驚くべき成功が齎された。ドイツの工場委員會選挙がそれを實證してゐる。そこでは労働組合革命的反對派の立てた候補者は著しい成功を得た。イギリスの少數派運動もスコットランドの礦山労働者の間に同様の成功を勝ち得た。ここでは新方針は甚だしく遅れてゐるが、結局遂行されたのである。

もし革命的労働組合運動がその陣列から日和見主義者や調停派を清掃しさへするならば、それ

は資本主義的搾取から労働者階級を完全に解放する道を迅速に前進することが出来るであらう。

考 査 研 究

自國の改良主義的並びに革命的労働組合運動の特徴

- 1、戦後發展の小史。
- 2、思想上の差異。
- 3、革命的労働組合運動の組織形態。
- 4、大衆獲得のための闘争に於ける革命的労働組合運動の現在の諸任務。

★この通信教育の方法に従つて直接に教育活動を指導するすべての労働組合組織に與ふ

國際赤色労働組合煽動宣傳部内文化部は、本項の補足として、本項に於て取扱はれた一般的諸

問題の趣旨にしたがつて、改良主義的並びに革命的勞働組合運動の情勢を特徴づけた資料を作成し、學習者に送られんことをお願ひする。

この資料は、教材の體裁を有し、全體で三頁乃至四頁を出でぬことが望ましい。

同志的挨拶を以て

國際赤色勞働組合運動宣傳部内文化部

第五講 國際勞働組合運動の現在の問題

第一項 世界恐慌、失業及び革命的勞働組合

運動の諸任務

本項の課題

最近數ヶ月間に我々はすべての諸國、就中アメリカ合衆國に於て、經濟狀態の惡化を目撃してゐる。それと同時に到る所から失業者の示威行動に關する報知が來てゐる。その示威行動は所々に於て例へばドイツ、オーストリー、ルーマニア、ポーランド等に於て暴風の如き性質をとつてゐる。新聞や雜誌は、共産主義的のものも、社會ファシスト的及びブルジョア的のものも、益々頻繁に恐慌や沈滞を論じてゐる。

現在の經濟狀態に分析を加へ、眞に經濟恐慌が起つてゐるのかどうか、起つてゐるとすればその規模と見透しはどうかを確め、更に恐慌の失業に及ぼす影響を探究し、恐慌と失業に面

して革命的労働組合運動の展望はどうであるか、それと關聯して革命的労働組合運動には如何なる任務が課せられてゐるかを明かにすること、これが本講義の課題である。

従つて我々は次の問題を研究しなければならぬ。

- 1 現在の經濟恐慌の性質はどんなものであるか？ その範圍はどれ程であるか。
- 2 この恐慌の見透しは如何？ それは更に發展し深化するだらうか、それとも漸次緩和してやがて消滅してしまふだらうか？
- 3 最近の失業の増大は恐慌と關係があるか？
- 4 失業者運動の規模と形態は如何？
- 5 失業者運動の展望はどうか？ それは益々擴大し尖鋭化すると假定できるか、それともこの運動は鎮靜に向つてゐると假定され得るか？
- 6 失業者運動の昂揚の見透しから出發するならば、革命的労働組合運動は如何なる任務をもつか？

第一問 現在の經濟恐慌の性質と範圍

戦後の時期に於てはアメリカ合衆國が指導的資本主義國である。イギリス及びヨーロッパ大陸の諸國の資本主義が崩壊腐敗の公然たる徴候を示しつゝあつた時、アメリカは、經濟が比較的急速な速度で更に發展しつゝあつた國であつた。一九二二年から一九二九年の秋に至るまで、アメリカでは殆ど間斷なき生産の増加と商取引の擴大と積載貨物量の増大と輸出の發展、等を見た。特に金屬産業、自動車生産、化學及び電氣産業は極めて急速に擴大した。これらのことは、ブルジョアの及び小ブルジョアの國民經濟學者等がアメリカ合衆國ではどのやうな恐慌も起り得ないと主張する動機となつた。即ち資本主義經濟制度はこの國においては非常に優秀に組織されてゐるので、經濟の如何なる恐慌も沈滞も豫防する可能性が充分にあり、アメリカ合衆國の繁榮（經濟的隆盛）は、組織化された資本主義の基礎の上に永久に續くだらうと云ふのだ。

ところがさて一九二九年十一月に、アメリカ合衆國では巨大な取引所恐慌が始まつた。間斷なき需要によつて途方もなく高價に吊り上げられてゐた株その他の有價證券の相場（取引所相場）は突然猛烈に崩落し始め。それと共に數万から數十万に及ぶこれらの株の所有者、特に中、小ブルジョア及び労働貴族の群が破産した。或るブルジョア國民經濟學者の計算に従へば、相場

崩落の最初の三週間の間だけでも、株所有者は六百億乃至七百五十億を損失したのである。経済恐慌が概して金融恐慌を以て始まることは、経済恐慌の特性であるとマルクスは書いてゐる。それと全く同じ光景がアメリカ合衆國に於て見られたのである。すでに株式崩落の暫く前から工業は生産過剰と事業の不振とに悩んでゐた。取引所恐慌それ自體は、單に取引所に於ける株式相場の投機的吊り上げと工業に於ける沈滞との間の不釣合の自然的結果たるに過ぎなかつた。他方、取引所恐慌と、その結果としてのブルジョアジーのすべての層の破産とは、この沈滞を一層甚だしく尖鋭化せしめた。工業に於ても亦恐慌が始まつた。最近二ヶ月間、新聞は殆ど毎日のやうに最重要な工業部門の生産制限や、労働者の解雇や、大工場の作業休止、等々に關する報道をもたらしてゐる。これらすべては、アメリカ合衆國の経済恐慌が深化しつつあることを立證する。

だがアメリカ合衆國は他の諸國に影響を及ぼすことなしに恐慌を切り抜けることが出来るだらうか？ 勿論出来ない。國際的經濟的聯關は現在では非常に密接になつてゐるから、たとへ比較的重要でない國の經濟的動搖であつても、無條件に他の諸國の商業並びに工業の狀態に影響する。

この世界資本主義の指導的國家たるアメリカ合衆國の場合にどうして影響せずにおよぶか！ 純粹に理論的な考察によつても、すでに我々はアメリカ合衆國の經濟恐慌が他の諸國の經濟に影響するに違ひないことを主張し得る。現實はこの理論的結論を完全に實證した。ドイツ、オーストリー、ポーランド、イギリス、スウェーデン等々の經濟的諸事件は、アメリカの恐慌が到る處に亦その影響を及ぼしてゐること、及びこれらの諸國が同様に經濟恐慌の時期に入りつゝあることを示した。かくして恐慌の範圍はアメリカ合衆國の境界をはるかに越えてをり、我々は現在、全球上の資本主義諸國の經濟生活を異常に悪化しつゝある一の經濟的世界恐慌に面してゐるのである。

第二問 世界經濟恐慌の見透し

アメリカ合衆國や西歐資本主義諸國からは益々頻繁に、生産制限や工場閉鎖や労働者の解雇等々に關する報道が到着してゐる。そしてこれらの報道は、我々が今はまだ世界經濟恐慌の最初の段階にあるに過ぎないことを立證する。かくしてポーランド及びチェツコスロヴァキアに於ける

勞働者の大衆的解雇や工場閉鎖が報じられてゐる。新聞は世界經濟恐慌がスウェーデンをも捉へたことを報じてゐる。此處では彈藥ケースの生産やその他若干の冶金工業部門の活動が制限されてゐるのである。恐慌は植民地半植民地をもその領域内に引き入れた。若干のブルジョア國民經濟學者が發表した意見、即ち恐慌の尖鋭な時期は既に過ぎ去つて今や恢復に向ひつゝあるといふ意見は、かういふ風に現實によつて否定されてゐる。今後數ヶ月の中に世界經濟恐慌の尖鋭化、擴大、深化を豫期せねばならない。

現時の恐慌を研究するならば、次の問題が生じて来る。即ち、この恐慌は一の典型的な經濟恐慌、即ち戦前にも見られたところの恢復、繁榮、過剰生産、沈滞、及び恐慌から成り立つ一の經濟循環を表はすところのものであらうか？ 勿論此處には典型的な經濟恐慌のすべての決定的特質が存在する。だが現在の恐慌は、それが固有の漫性的生産過剰、工業に於ける漫性的沈滞漫性的失業等々を伴ふ資本主義の一般的戦後危機を背景として行はれてゐるといふ情勢によつて更に複雑化されてゐる。現時の經濟恐慌のこの複雑な性質を、我々はその分析に際して片時も忘れてはならない。何故なら我々は繁榮期の後の異狀な惡化に面してゐるのではなくて、幾多の國々に

於けるさなきだに沈滞してゐた經濟景況の惡化に面してゐるのだからである。

第三問 現在の失業と恐慌との關係

最近生じた失業の増大は恐慌と關聯してゐるだらうか？

この問題に對する正しい解答は、非常に重要な意義を有つてゐる。何故なら我々は、戦後の全時期を通じ、殆どあらゆる國々に於て、著しい失業を見たからである。アメリカ合衆國では繁榮の最高潮の時期に於てすら二百萬乃至三百萬の失業者が存在してゐたこと、イギリスでは失業者の數が百萬人以下に低下したことがないといふこと、ドイツでは失業者の數は六十萬乃至七十七萬人から二百五十萬人の間を上下してゐることを述べれば充分である。近年に於ては、失業は資本主義的合理化の結果として増大の著しい傾向を示してゐる。この資本主義的合理化によつて、勞働者は機械によつて驅逐され、單に豫備軍となるのみではなく、もはや何時になつても生産に歸る見込を有たない過剰失業者軍を形成するのである。

現在の經濟恐慌が戦後の一般的經濟危機を背景として行はれてゐると丁度同じやうに、最近

數ヶ月間に於ける失業の未曾有の増大は、最近數年の漫性的な、絶えず増加しつゝある失業を背景として起つてゐる。恐慌が失業の一層の増大を來すといふことについては、次の事實がこれを證明してゐる。アメリカ合衆國では、一月末に、最も控へ目に計算してもすでに約五百万の失業者を數へた。即ち正常な「繁榮」の年に於けるよりも約二百万人多い。ドイツでは一九三〇年三月には約三百五十万人の失業者が存在したが、これはプロレタリアートのほと四分の一に當るのである。イギリスでは失業者は百五十万人を數へる。六月から十二月までに失業者の數は三十八万二千人だけ増加し、前年同月の數字をはるかに凌駕してゐる。小國の中では、イタリーは失業者八十万と稱せられてゐる（フアシストの官廳月報はたつた四十万人と認めてゐるのだが）。オーストリーは三月に約四十万の失業者を有し、チエツコスロヴァキアも四十万、ハンガリーは三十万等々であつた。全部で、小國に約三百万人の失業者がある。なほ、メキシコの五十万人、ラテンアメリカの百万人、イギリス自治領の百万人、及び日本の同じく百万人の失業者を勘定に入れるならば、我々は失業者の全數字は、植民地半植民地を除いて、約千七百万人に達することを知らる。このことは世界資本主義が、千七百万人のプロレタリアとその家族とに、即ち約七千万人の者に飢

餓の苦痛を強ひてゐるといふことを意味する。過去數年間に比較して、我々は恐慌がホンの始まつたばかりの今日すでに失業者數が五百万乃至六百万増加してゐるのを見る。恐慌の一層の擴大及び深化の見透しは、當然また全資本主義諸國に於ける失業者數の一層の増加の見透しを作り出す。

第四問 失業者運動の規模と形態

失業の巨大な規模とその急速な増大とは、「量の質への轉化」のための、即ち失業及び失業者運動の性質の變化のための前提を作り出す。戦後の最近の數年間に、最重要な資本主義諸國に於ける失業は漫性的性質をとつた。ブルジョアジーは、失業者が多數にゐることが資本主義的經濟制度の存続を危くすることを意識して、失業者に國家の扶助を與へ、又所謂「セント制度」——國家の失業手当を労働組合の會計から支拂ふところの——遂行のために資金を提供することによつて、或る程度まで失業者を「扶養」してゐた。この「扶養」や又失業の漫性的性質それ自身が、失業者の間に或る種の消極性を呼び起し、その不満を緩和した。殊に失業の漫性的性質は、就業労働者と失業者との間に一種の分界線、乃至は相互の或る種の疏隔を作り出した。ブルジョアジーやフ

アスシストや社會フアスシストは、あらゆる手段でこの隔たりを深化しようと試みた。事實彼等はまた屢々就業労働者を或る程度まで失業者から孤立させることに成功した。然し現在では失業の巨大な増加は次のやうな結果を導いた。即ち第一には、就業労働者と失業者との間の境界が抹消されたこと、第二には、巨大な半失業者軍、即ち操短労働者軍が作り出されたこと、第三には、ブルジョアジーが失業者の扶養を費用がかゝり過ぎるとして制限したので、これらの失業者がみじめな絶望的な飢餓的生存を宣告されてゐることである。

失業の巨大な増加は、手當の削減と、多數の工場の操短労働への移行と相伴つて、失業者運動の著しい昂揚のための客觀的前提を作り出してゐる。この運動は益々大衆的性質をとり、それと同時に益々決定的な形態をとつてゐる。ドイツ、オーストリー、チエツコスロヴァキア、ハンガリー、ルーマニア、ギリシヤ、アメリカ合衆國、カナダ、及びその他の國々では、失業者のデモや、失業者と警察及び軍隊との衝突が行はれ。時には、ポーランドやアメリカであつたやうに、市街戦さへも起つてゐる。失業者のこれらの大衆行動は、革命的運動が労働者階級の最も内部の層にまで益々深く滲透しつゝあることを證明する。

恐慌は發展しつゝある生産力と近代資本主義社會の生産關係との間の鋭い衝突、云はば、生産力を束縛する資本主義的經濟制度に對する生産力の叛逆を表現するものである、とマルクスは云つてゐる。この生産力の一つとしての労働者階級は經濟恐慌の間に於て資本主義と最も鋭く衝突をする。そしてこの衝突の最も明白な表現形態は、失業者の革命的運動なのである。

第五問 失業者運動の展望

失業者運動の展望はどうか？ それは益々擴大し尖鋭化する、と假定できるか？それともこの運動は鎮靜に向つてゐると假定されるか？

この問題に對する答は、第二問の經濟恐慌の見透しに對する答と密接な關係がある。我々は、恐慌はまだやうやく最初の段階にあるのであつて、將來それは擴大し深化するだらうといふ結論を得た。失業者運動の展望も全く同様である。世界經濟恐慌が益々擴大し深化すればするほど、失業者運動も益々擴大し深化して、プロレタリアートの新しい部分をその範圍内に引き入れるであらう。

失業者運動は單に巨大な社會的並びに政治的意義をもつのみでなく、又資本主義の危機の現在の段階に於ては、資本主義的經濟制度そのもの、これ以上の存続に關する問題を最も鋭く提起する。労働者階級の最も遅れた層でさへも、數百萬數千萬の人々を不可避的な飢餓に、飢餓的存在に陥し、しかもこの飢餓的存在がこの社會制度の存続にとつて缺くことのできぬ前提となつてゐるといふやうな社會制度は、何ら存在の權利がないと結論せざるを得なくなるであらう。

ブルジョアジーは、誰がこの失業者運動を支配するかは、彼等にとつて一の死活問題であることを洞察してゐる。もし革命的分子がこの運動を支配するならば、ブルジョアジーの支配は大打撃を受けるであらう。しかしもしブルジョアジーが失業者運動を分裂せしめ、その革命的思想を除き去つて、彼らに影響を及ぼすことに成功するならば、さうすれば資本主義的經濟制度の存続は、またもや暫くの間は保證されることになる。

自己の階級的利害を正しく理解してそれに應じて行動するブルジョアジーは、かういふ考察から出發して、失業者運動を自己の支配下に置くために全力を盡してゐる。ファシスト的諸組織は多くの國々に於て、失業者の不滿をファシズムとブルジョア反動との軌道に導き入れようと努め

てゐる。失業者の一部分をストライキ破りやファシズムの組織に獲得し、これらの失業者を殘餘の失業者や全勤労働者に對立させるために、ありとあらゆる手段がとられてゐる。同時にあらゆる色の合のファシストは、就業労働者を失業者に、失業者を就業労働者に嫉しかけ、プロレタリアートを分散せしめることに、それを相せめぎ合ふ小群に分裂せしめることに努めてゐる。それと同時に議會や地方行政機關内の社會民主主義的指導者の對失業者政策や、失業手當の削減に關するブルジョア政黨の提案を彼等が支持してゐることや、又往々彼等自身がそのことに率先してゐることは、失業者の遅れた層がファシズム化する危険を誘致する。

失業者の若干の部分がファシズム化する危険は甚だ重大であつて、我々はそれを考慮せねばならぬ。こゝから、ファシズムに對する闘争を出来るかぎりの方法で強化し、そして失業者を自己の影響下に置き自己の政策の道具に變へようとするファシズムの試みを撃退する必要が生ずる。

第六回 革命的労働組合運動の諸任務

以上、我々は失業者運動が擴大し深化する傾向を示してゐることを説明した。そして又この運

動のファッシュ化と分散との危険について述べた。最も近い将来に於けるプロレタリアートの革命的防衛の最重要な任務も亦これと關聯してゐる。

最も重要な任務は、資本主義に對する闘争に於ける労働者階級の統一の維持、強化、及び發展である。労働者階級を分裂させ、失業者と就業労働者とを反目抗争せしめんとするブルジョアジーや社會ファシズムの努力に對して、革命的分子は、失業者と工場内の就業労働者との統一、プロレタリアートのすべての部分の一般的階級的連帯を對置せねばならぬ。益々擴大する經濟闘争の結果は、そしてまた一般階級闘争の結果も又著しく、失業者の組織化と革命的闘争の全戦線へのその編入の如何にかゝつてゐるのである。

最も重要な闘争方法は、失業者と就業労働者との共同の大衆的示威行動でなければならぬ。この示威行動の最も重要な要求は、七時間労働のための闘争、賃銀値上、及び資本主義國家によるすべての失業者の充分な扶助、でなければならぬ。

同時にプロレタリアートの革命的防衛は、失業者を組織しその闘争を指導する任務を課せられてゐる。この目的のためには、現在の失業の性質及びその世界恐慌との關係を説明するための失

業者及び就業労働者の間に於ける大規模な煽動、労働時間を七時間及び六時間にまで短縮することによつて失業者を生産過程に編入するための闘争、時間外労働に對する闘争、企業家負擔の國家による失業者扶助のための闘争、及び平均賃銀の水準にまで失業手当を引上げるための闘争が必要である。失業手当要求の、及び失業反對の闘争は、政治的内容で満たされてゐなければならぬ。そしてこれは全労働者階級の問題である。

煽動宣傳は失業者委員會の組織と結びつけられてゐなければならぬ。この失業者委員會には、組合に組織された労働者も未組織労働者も同様に屬してゐなければならぬ。この委員會は失業者大會でその運動の恒常的機關として選舉されなければならぬ。委員會の當面の任務は、地方別及び職業部門別の失業者代表者會議の準備、失業者及び就業労働者の示威行動の準備、最も強く失業に襲はれた地方から首都或ひはその地方の行政中心地への失業者行進の組織、失業者のためのピラ、通信及び新聞の發行である。革命的組合及び労働組合革命的反對派は、失業者委員會の創設のイニシアチヴをとらなければならぬ。又同時に失業者扶助の領域に於ける改良主義者の反労働者的、裏切的な役割を系統的に暴露しなければならぬ。

失業者委員会の活動には、就業失業の婦人及び青年が引入られなければならない。失業者をストライキ破りに誘惑し、又は彼等を手當の剣奪を以て脅してストライキ破りを強ひようとさへもするあらゆる試みに對しては、決定的な闘争を行はねばならぬ。

これが、労働者階級の革命的分子が、全世界にて大衆的現象となつた失業に當面して遂行せねばならぬ最も重要な任務である。

恐慌と失業とに關聯して生ずる理論的問題に關しては、雑誌「國際赤色労働組合」誌、一九二九年第十二號(十二月)所載の「アメリカ合衆國に於ける取引所恐慌と近づきつゝある經濟恐慌」といふ同志M・ルビンシュタインの論文、及び一九三〇年一月発行の雑誌「國際共産黨」誌「世界經濟恐慌」及び一九三〇年三月発行の「國際赤色労働組合」誌特別號に、詳細に述べられてゐる。

昭和六年六月三十日印刷
昭和六年七月五日發行

〔定價三十錢〕

譯者 産業労働調査所

發行者 東京市神田區今川小路三ノ六 市川 義雄



印刷者 東京市神田區多町一ノ九 西村 梅藏

印刷所 東京市神田區多町一ノ九 三交堂印刷所

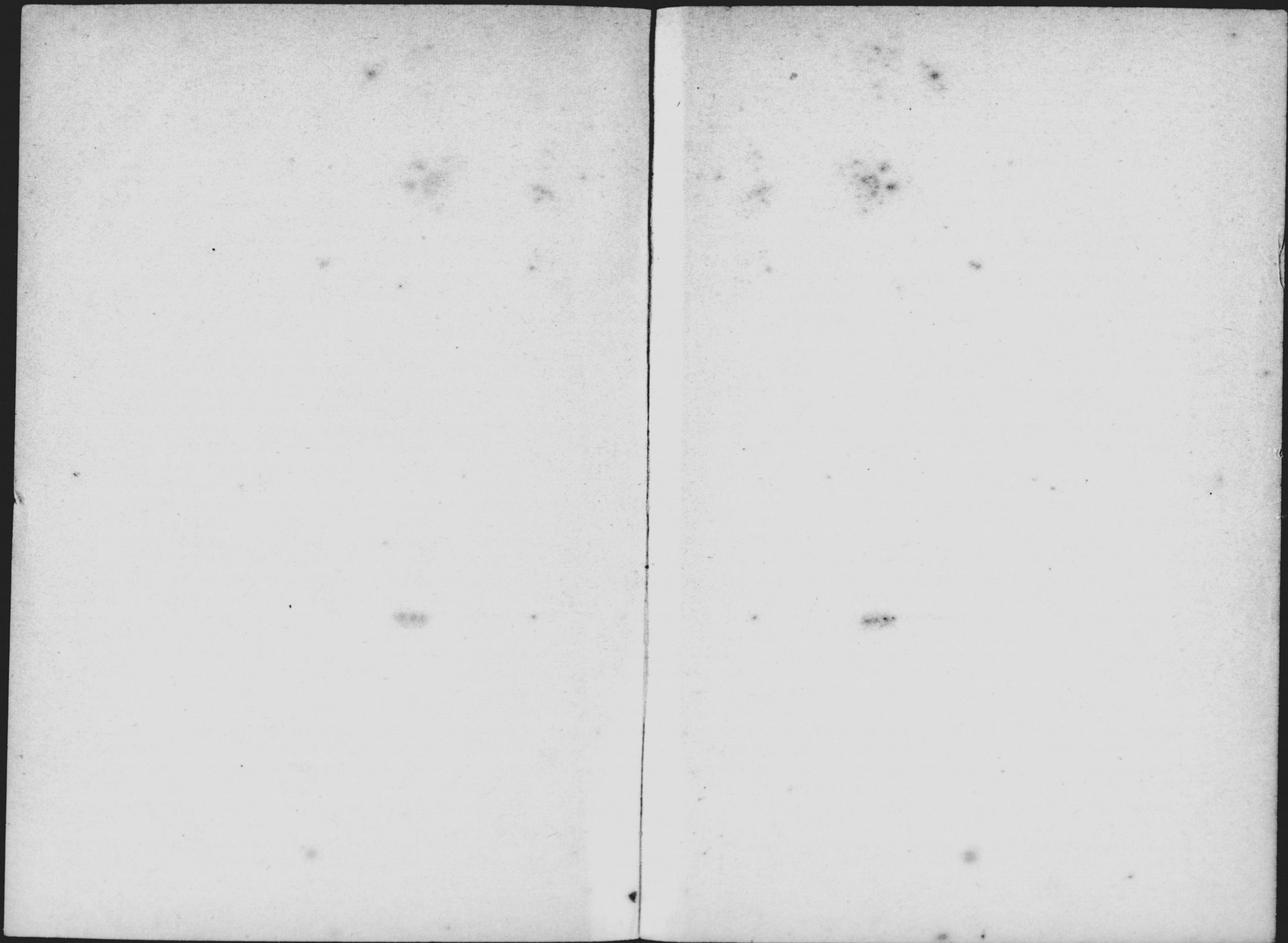
發行所

東京市神田區今川小路三ノ六 合資 希 望 閣
振替東京六七五一九番 會社

希望閣出版書目 (一九三二・四現在)

Table of book titles and prices on the right page. Columns include author names (e.g., 著者, 著者), titles (e.g., レーニン, 辯證法), and prices (e.g., 一〇〇, 二〇〇).

Table of book titles and prices on the left page. Columns include author names (e.g., 著者, 著者), titles (e.g., 産勞, 産勞), and prices (e.g., 一〇〇, 二〇〇).



非字
文庫

